建管第 1336 号 令和5年(2023年) 1月 24 日

関係団体の長 様

農政部長 水産林務部長 建設部長

「工事施行成績評定基準」の一部改正について

工事施行成績評定基準における「工事成績採点の考査項目別運用表」の一部について、別紙新旧対照表のとおり改正し、令和5年(2023年)1月1日以降に契約し、かつ、通知日以降に施行成績評定を行う工事から適用することとしますので、参考に送付いたします。

農政部 農村振興局 事業調整課 技術指導係 水産林務部 総務課 管理係 建設部 建築局 建築保全課 建築技術係 建設部 建設政策局 建設管理課 工事管理係 建設部 建設政策局 建設管理課 技術管理係

工事施行成績評定基準(平成 14年3月27日付け技管第1228号)

変更後	変更前	備考
工事施行成績評定基準	工事施行成績評定基準	
第1 通則	第1 通則	(変更なし)
< 略 >	< 略 >	
第2 評定項目	第2 評定項目	
< 略 >	< 略 >	
第3 評定方法	第3 評定方法	
1 土木工事	1 土木工事	
< 略 >	< 略 >	
2 営繕工事	2 営繕工事	
< 略 >	< 略 >	
第4 評定の修正	第4 評定の修正	
< 略 >	< 略 >	
第5 その他	第5 その他	
< 略 >	< 略 >	
■土木用■	■土木用■	
様式-1K①(土木用)	様式-1K①(土木用)	
工事施行成績採点表	工事施行成績採点表	
< 略 >	<略>	(変更なし)
	 別記様式 1-2 (土木用)	
細目別評定点採点表	細目別評定点採点表	
< 略 >	< 略 >	(変更なし)
土木工事成績評定考査項目別運用表の目次	土木工事成績評定考査項目別運用表の目次	
<略>	<略>	(変更なし)
様式-2K①(土木用) ~ 様式-5C⑩-4O	様式-2K①(土木用) ~ 様式-5C⑩-4O	
工事成績採点の考査項目別運用表	工事成績採点の考査項目別運用表	
< 略 >	< 略 >	(変更なし)

工事施行成績評定基準(平成 14年3月27日付け技管第1228号)

変更後	変更前	備考		
■土木用■	■土木用■			
別紙1 「記入方法及び留意事項」 別紙 2-1(土木用) 「施工プロセス」のチェックリスト < 略 >	別紙1 「記入方法及び留意事項」 別紙2-1(土木用) 「施工プロセス」のチェックリスト < 略 >	(変更なし)		
別紙 2-2 (土木用) 「施工プロセス」のチェックリスト	リー			
「施工プロセス」のチェックリスト (2/3)	「施工プロセス」のチェックリスト (2/3)			
考細 チェックリストー覧表 チェック時期(指示事項) 項 確認項目 (チェックの目安) 番手前 施 エ 中 完成時 により実)	考 細			
項目 確認項目 (チェックの目安) 着手前 施工中 完成時 兄びその是正状況等)	「項目」 確認項目 (チェックの目安) 着手前 施工中 完成時 完成時			
2 I D	2 I D建設副産物 及び建設廃棄 施 工 世 物 工 工 世 管 況	資源有効利用促進法政省 令の改正に伴う対応		
(施工後)				
別紙 2-3(土木用) 「施工プロセス」のチェックリスト 別紙 3(土木用) 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書 < 略 >	別紙 2-3 (土木用) 「施工プロセス」のチェックリスト 別紙 3 (土木用) 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書 < 略 >	(変更なし)		

工事施行成績評定基準(平成14年3月27日付け技管第1228号)

	2012/24/24017		17 - 12	'	0 0/										
変	更後 更後								変	更前		備考			
■営	営繕用■								= è	営繕	用■				
様コ	大一1(営繕用)	工事施行成績 < 略 >							様コ	式一	1 (営繕用	用)	工事施行成績採点表 < 略 >		(変更なし)
別記様式 1-2 (営繕用) 細目別評定点採点表 < 略 > 様式-2~4 (営繕用) 監督員用、主任監督員用、総括監督員用、検査員(完成)用									別記	記様	式 1-2((営繞		(変更なし)	
様ェ	∜−2∼4(営約	勝用) 監督員用、主任監督員用、 < 略 >		督員用	引、検	接查員(完成)用 様式-2~4(営繕用) 監督員							用) 監督員用、主任監督員用、総括監督員用、検査員(完成)用 < 略 >		(変更なし)
別紙2		プロセス」チェックリスト(営繕用 「施エプロセス」チェック	リスト(営		(指示	示事項等)		3/3	- 1	紙2		3/3			
協協	〇施工管理 ・建築材料、機材の管理 :	チェックリスト一覧表 (チェックの目安) ・建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (施工中適宜) ・日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。	着手前				已成時	備考] エ :	I O旅施・建設工	確認項目 E工管理 築材料、機材の管 来形、品質管理	· 章理 (エックリスト一覧表 (チェックの目安) 着手前 施 エ 中 完成時 備考 主築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (/) (/) (/) (施工中適宜) □ □ □		
況理	○建設副産物及び建設 廃棄物	(施工中適宜) ・請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した。 (施工中適宜) ・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に			(/) (/)				況	理	建設副産物及び建	建設・計 い	3常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。		
		基づき作成し、施工計画書に含め提出し <u>、内容説明を受け</u> た。 (施工中適宜) - 工事現場の見やすい場所へ計画書が掲示されていた。 (施工中適宜)										基	有生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に (/) (/) (/) (/) づき作成し、施工計画書に含め提出した。 ⑥		資源有効利用促進法政省 令の改正に伴う対応

工事施行成績評定基準

平成 14 年 3 月 27 日 技管第 1228 号 各部長、各種委員会事務局長、議会事務局長、 各部局長、各地方部局長あて 農政部長、水産林務部長、建設部長

[沿革] 平成 15 年 3 月 27 日技管第 784 号、18 年 3 月 31 日建技第 827 号、18 年 7 月 4 日第 269 号、20 年 3 月 31 日第 919 号、22 年 3 月 26 日第 1318 号、23 年 3 月 1 日第 1084 号、28 年 3 月 7 日建管第 2671 号、令和 2 年 3 月 30 日建管第 1959 号、令和 2 年 7 月 22 建管第 525 号、令和 4 年 3 月 22 日建管第 2955 号令和 5 年 1 月 24 日建管第 1336 号改正

第1 通則

評定は、正確な資料及び監督又は検査により確認した事実に基づき、現場の条件等を勘案の上、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

第2 評定項目

評定は、次に掲げる考査項目について行うものとする。

1 土木・営繕工事共通

		項目	
	評価項目		細別
1	施工体制	I	施工体制一般
1	旭工件的	П	配置技術者
		I	施工管理
	# T JL 30	П	工程管理
2	施工状況	Ш	安全対策
		IV	対外関係
		I	出来形
3	出来形及び出来ばえ	П	品質
		Ш	出来ばえ
4	工事特性	I	工事特性
5	創意工夫	I	創意工夫
6	社会性等	I	地域への貢献等
7	法令遵守等		
8	その他		

第3 評定方法

1 土木工事

- (1) 評定者は工事監督員1、工事監督員2、検査員とするが、工事監督員1及び工事監督員2については各部の監督体制に応じて評定者を指定することとする。
- (2) 評定については、「工事成績採点表」 (様式1-K①(土木用)) 及び「細目別評定 点採点表」 (別記様式1-2(土木用)) で行うこととし、「考査項目別運用表」 (土 木用様式-2~5) で該当する事項を工事成績採点表の考査項目欄の加減点を記入す るものとする。

なお、評定にあたっては、「記入方法及び留意事項」(別紙1、土木工事のみ適用)及び「「施工プロセス」のチェックリスト」(別紙2、土木用)「工事現場等における施工体制点検・確認要領」を考慮するものとする。

また、工事における「工事特性」、「創意工夫」、「社会性等」に関しては、請負者は当該工事における実施状況(別紙3(土木用))を提出できるものとし、提出があった場合はこれも考慮するものとする。

- (3) 評定者ごとの評定点は、第2項により付された各考査項目ごとの評価点を、標準点 (65 点) から加減した値とする。
- (4) 請負工事の合計評定点は、次により算出するものとする。 この場合、合計評定点の算出に当たっては小数第1位を四捨五入するものとする。
 - ア 検査が工事完成検査のみの場合

合計評定点= (工事監督員1の評定点) ×0.34+ (工事監督員2の評定点) ×0.26+ (検査員の評定点) ×0.4- (法令遵守等の評価点) - (その他)

イ 検査が工事完成検査のほかに部分検査及び中間検査(以下「部分検査等」という。)がある場合

合計評定点= (工事監督員1の評定点) ×0.34+ (工事監督員2の評定点) ×0.26+ (検査員(部分検査等)の評定点) ×0.2+ (検査員(完成検査)の評定点) ×0.2- (法令遵守等の評価点) - (その他)

- (5) 細目別評定点は別記様式1-2(土木用)により算出するものとし、算出にあたっては小数第4位を四捨五入するものとする。
- (6) 前項(4)の合計評定点の算出において、部分検査等が2回以上ある場合の検査員 (部分検査等)の評定点は、それぞれの部分検査等における評定点を平均した値とす る。この場合、平均値の算出に当たっては小数第2位を四捨五入するものとする。

2 営繕工事

- (1) 評定者は工事監督員1、工事監督員2、検査員とするが、工事監督員1及び工事督員2については、各部の監督体制に応じて評定者を指定することとする。
- (2) 評定については、「工事成績採点表」(様式1(営繕用))及び「細目別評定点採点表」(別記様式1-1(営繕用))で行うこととし、「考査項目別運用表」(様式-2~4)で該当する事項を工事成績採点表の考査項目欄の加減点を記入するものとする。

なお、評定にあたっては、「「施工プロセス」のチェックリスト」(別紙 2、営繕用)「工事現場等における施工体制、施工状況点検表」を考慮するものとする。

また、工事における「工事特性」、「創意工夫」及び「社会性等」に関しては、請 負者は当該工事における実施状況(別紙3(営繕用))を提出できるものとし、提出が あった場合はこれも考慮するものとする。

- (3) 評定者ごとの評定点は、第2項により付された各考査項目ごとの評価点を、標準点 (65 点) から加減した値とする。
- (4) 請負工事の合計評定点は、次により算出するものとする。

この場合、合計評定点の算出に当たっては小数第1位を四捨五入するものとする。

ア 検査が工事完成検査のみの場合

合計評定点= (工事監督員1の評定点) ×0.34+ (工事監督員2の評定点) ×0.26+ (検査員の評定点) ×0.4- (法令遵守等の評価点) - (その他)

- イ 検査が工事完成検査のほかに部分検査及び中間検査(以下「部分検査等」という。)がある場合
 - 合計評定点= (工事監督員1の評定点) ×0.34+ (工事監督員2の評定点) ×0.26+ (検査員(部分検査等)の評定点) ×0.2+ (検査員(完成検査)の評定点) ×0.2- (法令遵守等の評価点) (その他)
- (5) 細目別評定点は別記様式1-2(営繕用)により算出するものとし、算出にあたっては小数第4位を四捨五入するものとする。
- (6) 前項(4)の合計評定点の算出において、部分検査等が2回以上ある場合の検査員 (部分検査等)の評定点は、それぞれの部分検査等における評定点を平均した値とす る。この場合、平均値の算出に当たっては小数第2位を四捨五入するものとする。

第4 評定の修正

- 1 工事の請負契約書に基づく契約不適合責任期間中に工事目的物に重要な契約不適合が あることが判明し、その契約不適合の修補を請求し、又は修補に代え、若しくは修補と 共に損害に賠償を請求した場合は、評定を修正するものとし、合計評定点から20点を 減ずることとする。
- 2 前項の規定以外については、関係各部ごとの定めによるものとする。

第5 その他

- 1 この基準は公表するものとし、その方法等については「工事等に係る入札及び契約の 状況等に関する事項の公表について」(平成13年3月29日付け建情第2328号農政部 長、水産林務部長、建設部長、出納局長通達)の例によるものとする。
- 2 この基準に定める他、各工事の契約における減点等の措置を講ずる場合は、別に定めるところによるものとする。

様式-1K①(土木用)

工事施行成績採点表

工事番号		工事内容		 % 6			※ 6			※ 6							/ <u>-</u>									100 00 4	,										
工事名		内容	1			l]								作成月	月日 初契約:	金額							機関名	Ď.	륾	終契約	金額							
請負者名																		契約工			午	月	В	~		円	月	日 日	14 24 11 1	1	年月日				年	月	日日
胡貝伯伯		1		54.4V D	- 11/7		ĺ				- EL LV		.7				-	Z #13 T	-¥1					1			л	Н		76190	+/1				_	7	п
					1 %7		<u>.</u>					員2 ※					,	検査員	職・	氏名	(部分	• 中間)			検査員	職・	氏名	(部分	· 中間)			検	査員 !	哉・氏名	名 (完	成)	
	考査項目		監督員	. 墹	ま・氏名	í	主任	壬監督	員等	職•	氏名	主任又	は総括	監督員	1 職・	氏名																					
== /T += D	細別		1.	1	Ι.	1		Ι.	i	Ι.	1		. 1		. 1			а'	Ι.	b'	1	Ι.	1		a,	Ι.	b'	I	1 .	İ		а,	1.	b'		. 1	
評価項目		а	<u> </u>	С	d	е	а	b	С	d	е	а	b	С	d	е	а	а	Ь	ь	c	d	е	а	а	ь	l p	С	d	е	а	а	b	р	С	d	е
1. 施工体制	I.施工体制一般	-	+1.0	<u> </u>	<u> </u>	-10.0		<u> </u>	<u> </u>									<u> </u>			<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>				<u> </u>			
	Ⅱ.配置技術者	-	+2.0	 	 	-10.0		ļ	ļ	-	-							-		-							-			<u> </u>							
	I.施工管理	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0											+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
2. 施工状況	Ⅱ.工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0	+1.0	0	-7.5	-15.0		į					<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>						<u> </u>			<u> </u>							
	Ⅲ. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+4.0	+2.0	0	-7.5	-15.0																										
	Ⅳ. 対外関係	+3.0	+1.5	0	-2.5	-5.0																				 											
3. 出来形	I. 出来形	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0											+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
及び	Ⅱ. 品質	+7.0	+3.5	0	-2.5	-5.0						İ					+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ																+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I.工事特性 ※2												+16.0) ~	0																						
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2												+9.0	~	0																						
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※2												+4.0	~	0																						
加減点合計	(1+2+3+4+5+6)		±		点					:	±	点							±		点					±		点	•				±		点		
評定点 (65	土加減点合計)※1	1				点	2				点						3				点			3				点			4				点		
		〇部分	分(臨田	寺)検3	査があっ	った場合	合: ((①点×	0.34+	②点×	0.26+	③点×0	. 2+@	点×0	. 2) =	評定点	(小类	效第1位	た四月	舎五入)	. :	※但し、	3 (部分、	臨時)	が2回	以上の	場合は	平均值	į.	1						
	評定点小計	〇部分	分(臨田	寺)検3	査がなか	かったナ	場合:	(①点	× 0. 34	+②点	×0.26	+4点>	(0.4)	=評定	≧点(小	・数第	1 位を	四捨五	入)																		
7. 法令遵守	等 ※3									_			点																								
8. その他	* 3									±			点																								
	合計評定点	O評?	定点小記	+ (Я	点) 一;	法令遵	守等、	その他	(点) =		点											総	合	評	定	点						点		
		(監	督員)				(主信	£監督	員等)			(主任	又は総	括監督	(員		(検査	查員)						(検査	全員)						(検	查員)					
	所見 ※4																																				
	の証字 (65占+加減																																				

- ※1 1~3の評定 (65点±加減点合計)+4~6の評定 (加点合計)=評定点
- ※2 4. 工事特性、5. 創意工夫及び6. 社会性等の評定は、工事全般を通して、特に優れた技術等を加点評価する。
- ※3 7. 法令遵守等、8. その他の評価は、減点評価のみとする。
- ※4 所見は、特筆すべきことがあった場合に記載するものとする。
- ※5 各考査項目ごとの採点は、工事監督員は様式ー2K~2C(土木用)、様式ー3K、様式ー4K~4C(土木用)、検査員は様式ー5K~5C(土木用)によるものとし、検査員の評価に先立ち、工事監督員が記入する。
- ※6 工事内容の欄には各部で定める主な工事内容コードを記入する。
- ※7 評定者は、各部の監督体制に応じて評定者を指定することとする。

細目別評定点採点表

ā	考査項目	工事監督員1※1	工事監督	 3 4 5 6 7 7 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1	④検査員(部分·中間)	④検査員(部分・中間)	⑤検査員(完成)	勿口则部ウ上	得点割合(%)
評価項目	細別	①監督員	②主任監督員等	③主任又は総括監督員	(4)快宜貝(部万・中间)	(4)快宜貝(部刀•中间)	③快宜貝(元成)	神日別評定思	待点割合(%)
1. 施工体制	I.施工体制一般	()×0.34+2.762= 点						3.442点	3.442%
1. 他工作制	Ⅱ.配置技術者	()×0.34+2.763= 点						4.123点	
	I.施工管理	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	12.963点	12.963%
2. 施工状況	Ⅱ.工程管理	()×0.34+2.762= 点	()×0.26+3.38= 点					8.022点	8.022%
2. 旭土认为	Ⅲ.安全対策	()×0.34+2.762= 点	()×0.26+3.38= 点					8.882点	8.882%
	Ⅳ.対外関係	()×0.34+2.762= 点						3.782点	3.782%
3. 出来形	I.出来形	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	14.963点	14.963%
及び	Ⅱ.品 質	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	17.643点	17.643%
出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ				()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	8.500点	8.500%
4. 工事特性	I.工事特性			()×0.26+3.38= 点				7.540点	7.540%
5. 創意工夫	I.創意工夫			()×0.26+3.38= 点				5.720点	5.720%
6. 社会性等	I.地域への貢献等			()×0.26+3.38= 点				4.420点	4.420%
7. 法令遵守等	F			()×1.0= 点				0.000点	0.000%
8. その他				()×1.0= 点				0.000点	0.000%
							評定点合訂	十 100.0点	1

- ※1 各部の監督体制に応じて評定者を指定することとする。
- ※2 部分、中間検査があった場合、 (①+②+③+④×0.5+⑤×0.5)=細目別評定点 (既済、中間が2回以上の場合は④を平均する。)
- ※3 部分、中間検査がなかった場合、 (①+②+③+⑤)=細目別評定点
- ※4 得点割合は細目別評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

土木工事成績評定考査項目別運用表の目次

		監督員	主任監督員等	総括監督員	検査員
施工体制	施工体制一般	2K①			
加工体制	配置技術者	2K2			
	施工管理	2K3			5K①
施工状況	工程管理	2K4	3K①		
池工1人儿	安全対策	2K⑤	3K2		
	対外関係	2K⑥			
出来形及	出来形	2C⑦			5C①
び出来ば	品質	2C®			5C®
え	出来ばえ				5C10
工事特性	工事特性		4	c①*	
創意工夫	創意工夫		4	C2*	
社会性等	地域への貢献等		4	C3*	
法令遵守	法令遵守		4	K 4)**	
その他	その他		4	K5 [*]	

※総括監督員を置く工事の場合は、総括監督員が評定者、置かない場合は主任監督員が評定者。

	品質、出来ばえ対応表		
5C®		5C10	
1	コンクリート構造物工事	1	コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)
2	土工事(切土、盛土、築堤等工事)	2	土工事(切土、盛土、築堤等工事)
3	用排水(コンクリート等の2次製品、柵渠)	18	用排水路
4	護岸・根固・水制工事、排水路工事	18	護岸・根固・水制工事
5	鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰水門の工場製作を含む)	5	鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。堰、水門等工場製作を含む)
6	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)	19	地すべり防止工事
7	海岸工事	1	コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)
8	舗装工事	3	舗装工事
9	法面工事	4	法面工事
10	道路改良工事	21	道路改良工事
11	基礎工事(地盤改良等を含む)	6	基礎工事(地盤改良等を含む)
12	コンクリート橋工事	7	コンクリート橋工事
13	塗装工事	8	塗装工事
14	トンネル工事	1	コンクリート構造物工事(海岸工事、トンネル工事を含む)
15	植栽工事	9	植栽工事
16	公園工事	10	公園工事
17	河川工事	11	河川工事
18	下水道工事	12	下水道工事
		13	防護柵(網)工事
19	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	14	区画線工事
		15	標識工事
20	管水路工事	22	管水路工事
21	フィルダム工事	23	フィルダム工事
22	施設機械設備工事(用排水ポンプ・水門設備・除塵設備・鋼製付属品)	24	施設機械設備工事(用排水ポンプ・水門設備・除塵設備・鋼製付属品)
23	維持工事	16	<i>44</i> +± <i>b</i> 5 <i>4</i> ≠ − ==
32	修繕工事	10	維持修繕工事
24	浚渫工事	17	浚渫工事
25	水管橋工事	25	水管橋工事
06	曲44生式工事等(基明度,原降量)	26	農地造成工事等(面関係)
20	農地造成工事等(面関係·隔障物)	28	農地造成工事等(隔障物)
41	農地造成工事等(パドック)	27	農地造成工事等(パドック)
27	客土工事	29	客土工事
28	暗渠排水工事	30	暗渠排水工事
29	区画整理工事	31	区画整理工事
30	電気通信設備工事	32	電気通信設備工事
40	魚礁・増殖場工事(コンクリートブロックの場合)	33	魚礁・増殖場工事(コンクリートブロックの場合)
5	鋼橋工事に準ずる	34	魚礁工事(鋼製魚礁の場合)
	構造物によってコンクリートか鋼橋かを選択する	35	囲い礁工事
31	外構工事	20	外構工事
33	急傾斜地崩壊防止工事	4	法面工事
34	防雪柵·雪崩予防柵·固定式視線誘導標柱等設置工事	36	防雪柵・雪崩予防柵・固定式視線誘導標柱等設置工事
35	治山工事	37	治山工事
36	林道工事	38	林道工事
37	木製構造物	39	木製構造物
38	魚礁工事(鋼製魚礁の場合)	34	魚礁工事(鋼製魚礁の場合)
39	増殖場工事(転石礁)	40	増殖場工事(転石礁)
	<u>.</u>		ı

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目	細別		a	b	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切であ	る。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切である。	不適切である。
		該当	評価	「評価対象項目」 □ 施工計画書(変更計画書を [・]	含む) を工事着手前に提出し	□ 評価 □ 施工体制一般	評価 に関し 血 施工体制一般に関し
				ている。		て、工事監督員	が文書 て、工事監督員からの
				□ 施工計画書と現場の施工体	制が一致している。	による改善指示 た。	を行っ 文書による改善指示に 従わなかった。
				口 作業分担と責任の範囲が施 ての工事を対象)もしくは施			
				□ 施工体制台帳、施工体系図 され、施工体制図も現場に掲	げられている。		
				□ コリンズの登録(5百万円 た上で契約後10日以内に行			
				□ 社内検査の時期、確認事項: されている。(社内体制が確: る。)			
				□ 社内検査員の身分(社員). る。	、経歴が確認でき適正であ		
				□ 建設業許可標識、法令その・ い場所に掲示している。	他必要な標識を公衆の見やす		
				□ 緊急指示、災害、事故等が いる。	発生した場合の体制が整って		
				□ 「施エプロセスのチェック」 工体制点検・確認要領」で指			
				口 その他(理由:)		
				該当項目の内達成項目が90	•		
				該当項目の内達成項目が80			
		評価率		該当項目の内達成項目が80			
		評定		※該当項目が2項目以下の場	台はc評価とする。		
		点数					

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目	細別		а	b	С		d		е
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者	適切であ	る。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切で	ある。	不適切で	ある。
	(現場代理人等)	該当	評価	「評価対象項目」		評価		評価	
				□ 現場代理人として常駐し、 る。	工事全体の把握ができてい		配置技術者に関して、工事監督員が文書		□ 配置技術者に関し て、工事監督員からの
				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	督員との連絡調整を書面で行		こよる改善指示を行った。		文書による改善指示に 従わなかった。
				□ 書類を共通仕様書及び諸基章 □ ている。	準に基づき過不足なく作成し				
				口 契約書、設計図書、適用す に反映している。	べき諸基準等を理解し、施工				
				□ 設計図書と現場との相違が 協議するなどの必要な対応を					
				□ 施工上の課題となる条件 (* の対応を図っている。	作業環境、気象、地質等)へ				
				口 下請けの施工体制、施工状					
				□ 主任技術者又は、監理技術 [:] 施工に努めた。	者として技術的に優れ良好な				
				□ 作業に必要な労働安全衛生 建設業法で定める専門技術者	を選任及び配置している。				
				□ 「施エプロセスチェック」。 体制点検・確認要領」で指摘					
				□ その他(理由:)				
				該当項目の内達成項目が900 該当項目の内達成項目が800	· • · · · · ·				
		評価率		該当項目の内達成項目が809					
		評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。				
		点数							

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

[10]()]	M T / U·XIII	1 5 7 (10 00 0				(八起 血目長川)
評価項目	細別	a	b	С	d	е
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者	適切である。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切である。	不適切である。
	(現場代理人等)	該当 評価	「評価対象項目」		評価	評価
	(30 33 10 23 14 17		□ 現場代理人として常駐し、 る。	工事全体の把握ができてい	□ 配置技術者に関し て、工事監督員が文書	
			□ 現場代理人として、工事監 うなど対応がよい。	督員との連絡調整を書面で行	による改善指示を行った。	文書による改善指示に 従わなかった。
			_ □ 書類を共通仕様書及び諸基 ている。	準に基づき過不足なく作成し		
			□ 契約書、設計図書、適用す に反映している。	べき諸基準等を理解し、施工		
			□ 設計図書と現場との相違が 協議するなどの必要な対応を			
			□ 施工上の課題となる条件(の対応を図っている。	作業環境、気象、地質等)へ		
			_ □ 下請けの施工体制、施工状 	況を把握している。		
			□ 主任技術者又は、監理技術 施工に努めた。	者として技術的に優れ良好な		
			□ 作業に必要な労働安全衛生 建設業法で定める専門技術者			
			□ 「施エプロセスチェック」 体制点検・確認要領」で指摘			
			□ 当該工事の作業内容に応じ	た技能士の活用が図られた。		
			□ その他(理由:)		
			_ 該当項目の内達成項目が90 該当項目の内達成項目が80	···		
		評価率	ー 該当項目の内達成項目が80	%未満······· c		
		評定	ー ※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。		
		点数	1			

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

	#							(八咫 四日貝川)
評価項目	細別	а	l	b	С	d		е
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	3 。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切である。		不適切である。
		該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価	
				□ 契約書17条第1項第1号 査を行い施工がなされている		□ 施工管理に関して、 工事監督員が文書によ		□ 施工管理に関して、 工事監督員からの文書
				□ 施工計画書と現場施工方法	•	る改善指示を行った。		ー による改善指示に従わなかった。
				□ 施工計画書が、設計図書及 なっている。	び現場条件を反映したものと			
				□ 建設機械等の使用及び調達 いる。	計画が十分なされ管理されて			
				□ 工事材料の品質に影響がな	いよう保管している。			
				┃ □ 日常の出来形管理を設計図 時的確に行っている。	書及び施工計画書に基づき適			
				□ 日常の品質管理を設計図書 的確に行っている。	及び施工計画書に基づき適時			
				□ 現場内の整理整頓を日常的	に行っている。			
				」 □ 工事用資材等の見本、品質 日常的に適切に整理されてい				
				□ 段階及び立会確認が適時的	確に行われている。			
				」 □ 工事記録の整備が適時的確	になされている。			
				□ 建設副産物の再利用等への	取組を適切に行っている。			
				□ 工事全般において、低騒音 ■ 型の建設機械及び車両を使用				
				□ 「施工プロセスのチェック	」で指摘事項がなかった。			
				□ その他(理由:)			
				 該当項目の内達成項目が90	%以上······· a			
				該当項目の内達成項目が80	%~90%未満 b			
		評価率		該当項目の内達成項目が80				
		評定		※該当項目が2項目以下の場				
		占数		WW-21% EXIVING	ш.о. э н I I I I С / О 0			
1	1	75°Y		1		1	1	

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

[10]()]	ma, o yai	1 674100	0						(共進・血目貝用)
評価項目	細別		а	b	С		d		е
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	適切であ	る。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適	切である。	不適切で	ある。
		該当	評価	「評価対象項目」		評価		評価	
				□ 工事の進捗を早めるための	取組を行っている。		□ 工程管理に関して、 工事監督員が文書によ		□ 工程管理に関して、 工事監督員からの文書
				□ 現場条件の変化への対応が られない。	迅速であり、施工の停滞が見		る改善指示を行った。		¹ による改善指示に従わ なかった。
				□ 時間制限や片側交互通行等 あり、大きな工程の遅れがな					
				□ 休日の確保を行っている。					
				□ 工程に与える要因を的確に 程表を作成している。	把握し、それらを反映したエ				
				□ 適切な工程管理を行い、工	程の遅れがない。				
				□ 計画工程以外の時間外作業	がほとんどない。				
				□ 実施工程表の作成及びフォ 切に工程を管理している。	ローアップを行っており、適				
				□ 「施エプロセスのチェック」	」で指摘事項がなかった。				
				口 その他(理由:)				
				該当項目の内達成項目が90 該当項目の内達成項目が80					
		== /= d		該当項目の内達成項目が80					
		評価率		該当項目の内達成項目が80 ※該当項目が2項目以下の場					
		評定		☆該ヨ頃日か2頃日以下の場	口はい計画へりる。				
1		点数	ĺ			1			

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

	B J J O A L C	1 6 7 (10 0)	0						(共进 五目貝用/
評価項目	細別	a	a	b	С		d		е
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	適切であ	る。	ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適	切である。	不適切でな	ある。
		該当	評価	「評価対象項目」		評価		評価	
				□ 災害防止協議会等を1回/	月以上行っている。		□ 安全対策に関して、 工事監督員が文書によ		□ 安全対策に関して、 工事監督員からの文書
				□ 安全教育及び安全訓練等を	半日/月以上実施している。		¹ る改善指示を行った。		による改善指示に従わ なかった。
				□ 施工現場での安全巡視の記 Meeting)、危険予知(KY) されている。また、新規入場 現場特性を反映している。	活動等を実施し、記録が整備				
				ロ 工事期間を通じて、労働災 かった。	害及び公衆災害が発生しな				
				□ 交通安全管理に積極的に取	り組んでいる。				
				┃ ┃ロ 仮設工の点検及び管理をチ ┃ している。	ェックリスト等を用いて実施				
				□ 保安施設の設置及び管理を ■ 議に基づき実施している。	、各種基準及び関係者間の協				
				□ 地下埋設物及び架空線等に んでいる。	関する事故防止対策に取り組				
				□ 「施工プロセスのチェック」	」で指摘事項がなかった。				
				口 その他(理由:)				
				 該当項目の内達成項目が90º	% ປ. Ի a				
				該当項目の内達成項目が80	•				
		評価率		該当項目の内達成項目が80	%未満······· c				
		評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。				
		点数							

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(#潘. 跨极吕田)

工事番号

	M T / O M T IC	1 6741000				(共通・血目貝用)
評価項目	細別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅳ. 対外関係	適切であった。	ほぼ適切であった。	他の事項に該当しない。	やや不適切であった。	不適切であった。
		該当 評価	「評価対象項目」	•	評価	評価
			□ 関係官公庁などと調整を行	い、トラブルの発生がなかっ	□ 対外関係に関して、	□ 対外関係に関して、
			た。		工事監督員が文書によ	
			□ 地元との調整を行い、トラ	ブルの発生がなかった。	る改善指示を行った。	による改善指示に従わ なかった。
			□ 工事の目的及び内容を工事 行者等に分かりやすく周知し	ていた。		
			□ 第三者からの苦情がない。 な対応を行っていた。	もしくは、苦情に対して適切		
			─ □ 関連工事との調整を行い、	円滑な進捗に取り組んでい		
			_ た。 □ 「施エプロセスのチェック	」、で指摘事項がなかった。		
			 □ その他(理由:)		
				,		
			該当項目の内達成項目が90			
			■ 該当項目の内達成項目が80			
		評価率	■ 該当項目の内達成項目が80 ※該以項目が8項目以下の提			
		評定	※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。		
		点数				

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目	細別	а	b	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	I.出来形	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の50%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基準に対しまででは、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。	要な測定項目について 所定の測定基準に基づ き行われており、測定 値が規格値を満足し、	は測定値が不適切で あったため、工事監督	づき、工事監督員が改 造の請求又は破壊検査
		② 出来形とは、設計図書				

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・監督員用)

評価項目	細別	а	b	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 品質の測定が、必要 な測定項目について所 定の測定基準に基づき 行われており、測定値 が規格値を満足し、そ のばらつきが規格値の 50%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内である。	な測定項目について所 定の測定基準に基づき 行われており、測定値 が規格値を満足し、	又は測定値が不適切で あったため、工事監督	づき、工事監督員が改
		② 品質とは、設計図書(3) 品質管理とは、「工事	全般を通じて評定するものとする こ示された工事目的物の規格であ 事施工管理基準」の試験項目、記 呆のための管理体系である。	•		
		評定				

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(共通・主任監督員等用)

評価項目	細別		а	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	優れて	いる。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。	劣っている。
		該当	「評価対象項目」				
			□ 気象条件や施工条件など て工事を完成させた。	こより特に工期的な制約がある	る場合において、余裕をもっ	□ 自主的な工程管理がな されず、工事監督員から 文書による改善指示を	□ 受注者の起因によりエ 期内に工事を完成させな かった。(但し、工事監
			□ 隣接する他の工事などと 完成させた。	の工程調整に取り組み、遅れ	を発生させることなく工事を	行った。	督員からの文書による改 善指示による場合を除
			□ 地元及び関係機関との調 た。	整に取り組み、遅れを発生さ	せることなく工事を完成させ		<)
			□ 工程管理を適切に行なっ の生活サイクルへの配慮が	たことにより、休日や夜間工 みられた。	事の回避等を行い、地域住民		
			□ 工程管理に係る積極的な	取組が見られた。			
			□ 工事施工箇所が広範囲に をもって工事を完成させた	点在している場合において、こ。	工程管理を的確に行い、余裕		
			□ その他(理由:)			
	該当数		≫該坐長頂日以上。 21	頁目以上・・・・b 、その他は・・・・	a トオス		
	評価		○ 次政コリ境日以上…a、 3 5	_{見口以上 1、ての他は… •}	C C 9 00°		
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(共通・主任監督員等用)

評価項目	細別		a	b	С		d		<u> </u>
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	優れて	いる。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。		劣っている。	
		該当	「評価対象項目」		ı				
			□ 建設労働災害及び公衆災	害の防止に向けた取組が顕著	であった。		□ 自主的な安全対策がな されず、工事監督員から 文書による改善指示を		ロ 受注者の起因により事 故が発生した。
			□ 安全衛生を確保するため	の管理体制を整備し、組織的	に取り組んだ。		行った。		1
			□ 安全協議会での活動に積	極的に取り組んだ。					
			□ 安全衛生を確保するため	、他の模範となるような活動	に積極的に取り組んだ。				
			□ 安全対策に係る取組が工 ら評価された。	事関係者以外(周辺住民、共	用部分使用者、警察署等)か				
			口 その他(理由:)					
	該当数								
	評価		※該当4項目以上…a、2項	頁目以上…・b、その他は…・	cとする。				
	点数								

様式-4C① 1/2

「記入方法」 該当する項目に4を入れる。

(土木・主任又は総括監督員用)

L記入力法」	該当する項目	に4を入れる。	(土木・主任又は総括監督員用)
評価項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例 1/2
4. 工事特性	I. 工事特性	I 構造物の特殊性への対応	(1. について)
		□ 1.対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事。	- 切土 20万m3 < V ·盛土 15万m3 < V ・護岸・築堤高 10m < H ・浚渫工 100万m3 < V ・トンネル(シールド) 8m < φ
		□ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事。	・樋門・樋管 15m2 <a 2000mm<φ="" td="" ・堰、水門="" ・揚排水機場="" 最大径間長25m以上、径間数3径間以上又は扉体面積50m2<a<="">
		□ 3. その他(理由:	トンネル(開削工法) 20m < H ・トンネル(NATM)内空断面積 100m2 < A ・トンネル(沈埋工法) 300m2 < A
		※上記の対応事項が1つ以上あれば4点の加点とする。	・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤、防波堤又は岸壁 水深10m <h 100m<w="" 150m<l<="" td="" ・地滑り防止工="" 又は=""></h>
			・流路工 500m3 < Q ・砂防ダム、治山ダム 15m < H ・ダム高 150m < H ・転流トンネル 400m2 < S
			・橋梁下部工 高さ 30m <h 100m<l<="" td="" ・橋梁上部工="" 最大支開長=""></h>
			·魚礁沈設工 水深220m≦H ·海上盛砂工 2万m3 <v 150m<l="" 1万m3<v<="" td="" ·林道土工="" ·治山山腹工=""></v>
			(2. について)
			・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。
			・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。
			・供用中の道路トンネルの拡幅工事。
			(3. について)
			・その他、構造物の規模、形状以外の難しさへの対応が特に必要な工事。
			・地山強度が又は土被りが薄いため、FEM解析等による検討が必要な工事。
	•	小計	
	•	Ⅱ都市部等の作業環境、社会条件等への対応	都市部等とは、人口集中地区(DID地区)や住宅街をいう。※都市部以外の工事も条件に合致すれば評価する。
	•	□ 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事。	(4. について)
	-	□ 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事。	・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。
	-	□ 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事。	・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする跨線橋又は跨道橋工事。
	-	□ 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事。	・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。
	-	□ 8. 緊急時に対応が特に必要な工事。	(5. について)
	•	□ 9.施工箇所が広範囲にわたる工事。	・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。
	•	──□ 10. その他(理由:	・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。
	-	────────────────────────────────────	・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。
			(6. について)
			・市街地での夜間工事。
			・市街地等で騒音・振動により住民、家屋等に影響を及ぼす建設機械等を使用した工事。
			(7. について)
			・供用中の道路(概ね日交通量1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事。
			・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。
			(8. について)
			・緊急時の作業があり、その作業全てに対応した工事。
			(9. について)
			・作業現場が広範囲に分布している工事
			(10. について)
1			・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。
1			

工事番号

様式-4C① 2/2 工事番号

様式 — 4 C (1)	4m D.I	사라하다	
評価項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例 2/2
		Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応	(11. について)
		□ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事。	・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め等が必要な工事。
		□ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事。	・支持地盤の形状が複雑なため、深礎抗基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。
		□ 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事。	・施工不可能日数が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。
		□ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事。	(12. について)
		□ 15. その他(理由:	・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。
		※上記の対応事項が1つ以上あれば4点の加点とする。	・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。
			(13. について)
			・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。又は命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)
			・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。
			(14. について)
			・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。
			(15. について)
			・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。
		小計	- ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		IV長期工事における安全確保への対応	
		□ 16.12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)。	
		□ 17. その他(理由:	
		┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	
		小計	-
		評点 ※・工事特性は、加点評価とする	-
		- 加点は十16点~0点の範囲とする。	
		・加点は十10点~0点の耙齿と9つ。	

^{※ 1.} 工事特性は、最大16点の加点評価とする。「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。

^{※ 2.} 評価に当たっては、請負業者からの報告及び他の工事監督員の意見も参考に評価する。

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(土木・主任又は総括監督員用)

[ロロノマノコ /ユ.			(工作 工作人)的心山血自具/11/
評価項目	細別	工夫事項 1/2	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	■施工関係	
		□ 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。	
		□ 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫。	
		□ 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。	
		□ 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式等の施工方法に関する工夫。	
		□ 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。	
		□ 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。	
		□ 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。	
		□ 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。	
		□ 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。	
		□ 10. 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。	
		□ 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。	
		□ 12. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	
		□ 13. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	
		□ 14. ICT (情報通信技術) を活用した情報化施工を取り入れた工事。	
		□ 15. 特殊な工法や材料を用いた工事。	
		□ 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。	
		□ 17. その他(理由:	
		※上記項目に該当する場合、5点~0点の範囲で1項目1点の加点とする。	
		小計	
		■品質関係	
		□ 18. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。	
		□ 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。	
		□ 20. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。	
		□ 21. 配筋、溶接作業等に関する工夫。	
		□ 22. その他(理由:	
		※上記項目に該当する場合、2点~0点の範囲で1項目1点の加点とする。	
		小計	

様式-4C^② 工事番号

惊式 一40亿		— T II 7
評価項目	細別	工夫事項 2/2
		■安全衛生関係
		□ 23. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)
		□ 24. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等(リスクアセスメントの実施を含む)に関する工夫。
		□ 25. 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。
		□ 26. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。
		□ 27. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。
		□ 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。
		□ 29. その他(理由:
		小計
		評点
		・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
		・加点は+9点~0点の範囲とする。
		1項目1点を目安とする。
		TALLMELACTO

- ※1. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。評価は「4. 工事特性」及び「6. 社会性等」との二重評価はしない。
- ※2. 詳細評価は、他の工事監督員の意見を聴取し、評価する。評価の際には、評価した理由を整理しておくこと。
- ※3. 評価は請負業者より報告、もしくは提案があったものを検討する。
- ※4. 次に示す事項は、当然実施されるものと判断し評価はしない。ただし、さらに工夫を加え効果が確認されれば評価する。
 - (1) 関係諸法令に規定されている事項
 - (2) 関係機関との打合せ及び許可条件等
 - (3) 公共機関や団体が推進している事項
 - (4) 設計図書・施工管理基準等に記載されている事項
 - (5) 設計変更により発生した事項
 - (6) 一般常識的な事項(社会通念上、一般的と考えられる内容)

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・主任又は総括監督員用)

評価項目	細別	工夫事項 1/2
5. 創意工夫	I. 創意工夫	■施工関係
		□ 1. 施工に伴う器具・工具・装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。
		□ 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫。
		□ 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。
		□ 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式等の施工方法に関する工夫。
		5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。
		□ 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。
		7. 照明などの視界の確保に関する工夫。
		□ 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。
		□ 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。
		□ 10. 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。
		□ 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。
		□ 12. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。
		□ 13. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。
		□ 14. ICT (情報通信技術) を活用した情報化施工を取り入れた工事。
		□ 15. 特殊な工法や材料を用いた工事。
		□ 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。
		□ 17-1. その他(理由:
		□ 17-2. その他(理由:)
		<u>小計</u>
		■品質関係
		□ 18. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。
		□ 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。
		□ 20. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。
		□ 21. 配筋、溶接作業等に関する工夫。 □ 3. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
		□ 22-1. その他(理由:)
		22-2. その他(理由:)
		小計

工事番号

様式-4C② (建設部土木用)

評価項目	細別	工夫事項 2/2							
		■安全衛生関係							
		□ 23. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)							
		口 24. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等(リスクアセスメントの実施を含む)に関する工夫。							
		□ 25. 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。							
		口 26. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。							
		口 27. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。							
		□ 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。							
		□ 29-1. その他(理由:)							
		□ 29-2. その他(理由:)							
		※上記項目に該当する場合、2点~0点の範囲で1項目1点の加点とする。							
		小計							
		評点							
		・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。							
		・加点は+9点~0点の範囲とする。							
		1項目1点を目安とする。							

- ※1.上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。評価は「4.工事特性」及び「6.社会性等」との二重評価はしない。
- ※2. 詳細評価は、他の工事監督員の意見を聴取し、評価する。評価の際には、評価した理由を整理しておくこと。
- ※3. 評価は請負業者より報告、もしくは提案があったものを検討する。
- ※4. 次に示す事項は、当然実施されるものと判断し評価はしない。ただし、さらに工夫を加え効果が確認されれば評価する。
 - (1) 関係諸法令に規定されている事項
 - (2) 関係機関との打合せ及び許可条件等
 - (3) 公共機関や団体が推進している事項
 - (4) 設計図書・施工管理基準等に記載されている事項
 - (5) 設計変更により発生した事項
 - (6) 一般常識的な事項(社会通念上、一般的と考えられる内容)

工事番号 様式-4C③

工事成績採点の考査項目別運用表 「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(土木・主任又は総括監督員用)

評価項目	細別	社会性等に関する事項	
6. 社会性等	地域への貢献等	□ 1. 「ゼロカーボン北海道」に関して意欲的に取り組んだ。 □ 2. 周辺環境への配慮や環境保全(「ゼロカーボン北海道」の取組を除く)に関して積極的に取り組んだ。 □ 3. 地域の資材の活用に関して積極的に取り組んだ。 □ 4. 地域との積極的なコミュニケーションを図った。 □ 5. 災害時等において、地域への支援又は救援活動への積極的な協力を行った。 □ 6. その他()	
		評点 ・特に評価すべき社会性等に関する事例を加点評価する。 ・加点は+4点~0点の範囲とする。 1項目1点を目安とする。	

- ※1. 当該工事の施工に携わっている者や当該工事で使用している作業機械で行ったものを対象とする。
- ※2. 金品や物品の寄付行為は対象としない。ただし、災害時での物品の提供は対象とする。
- ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する事例があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。
- ※4.詳細評価は、他の工事監督員の意見を聴取し、評価する。評価の際には、評価した理由を整理しておくこと。
- ※5. 評価は請負業者より報告、もしくは提案があったものを検討する。
- ※6. 社会性等は、工期内に工事箇所及び工事施工に関係する範囲で地域への貢献等を行った場合に評価する。
 - ・工場製作のみの工事の場合は、工場周辺の範囲を対象とする。
 - ・現場が複数ある場合は、各々の箇所での取組を評価する。
 - ・複数の工事で合同して行った取組は、各々の工事で評価する。
- ※7. 現場環境改善費を用いた取組は評価しない。

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(共通・主任又は総括監督員用)

評価項目	法令遵守等の該当項目一覧表		(六四・土住人は杉竹血目貝用)
7. 法令遵守等	該当	点数	
	□ 1. 指名停止3ヶ月以上	一20点	□ 項目該当なし
	□ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15点	
	□ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13点	
	□ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	- 10点	
	□ 5. 文書注意	一 8点	
	□ 6. 口頭注意	一 5点	
	□ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、ロ頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3点	
評定点	① 本評価項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があっ ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、社内検査員、請負会社の現り し、その履行をするために従事する者に限定する。		
	【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料等が虚為であった事実が判明した。 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 3. 宿舎環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。 6. 建設業法に違反する事実が判明した EX)一括下請け、技術者の専任違反等 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎第等 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シドマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、又は重大な損害を与えた公衆災害を起こ 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった 16. 建設工事請負標準契約書式 契約書第6条の2(受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等)に違反し 17. その他 (理由:	、暴力団関係 ート、軍手等 した。	者がいることが判明した。

「司】士注〕 減占がたい根合け、頂日誌坐たしに1左】れる。 ちる根合け、世霊内家及が減占したる占数について司】する

	減点がない場合は、項目該当なしに1を入れる。める場合は、措直内谷及び減点となる点数について記入する。		<u>(共通・</u>	<u>主任又</u>	(は総括監督員用)
評価項目	その他				
8. その他	措置内容	点数	該当		
					項目該当なし
評定点					
計化品					
	「8.その他」の評価は				
	・各工事の契約における減点の措置に適用する。				
	(例、総合評価入札において、工事の施工段階において、施工計画の内容を履行しなかった場合のペナルティー)				
1					

[記入方法]	滅点がない場合は、項目該当なしに1を人れる。ある場合は、措置内容及び減点となる点数について記人する。		(共通・	主任又	ては総括監督員用)					
評価項目	その他									
8. その他	措置内容	点数	該当							
					項目該当なし					
評定点										
II ACM										
	「8.その他」の評価は									
	・各工事の契約における減点の措置に適用する。									
	 (例、総合評価入札において、工事の施工段階において、施工計画の内容を履行しなかった場合のペナルティー)									
	 ・週休2日モデル工事において、週休2日の確保を行った場合に限り、措置内容に「週休2日の確保を行った。」と記載し1点加点する。									
		71117	•							
					ļ					

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(共通・検査員用)

評価項目	細別	a		a		b	С	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	優れてし	いる。	やや優れている。	他の事項に該当しない。	やや劣っている。	劣っている。		
		該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価		
				□ 工事材料の品質に影響がないよ	う保管していることが確認できる。	□ 施工管理につい □ て、工事監督員が文	│ │ │ │ │ │ 施工管理につい │ │ て、工事監督員から		
				 □ - 契約書17条第1項第1号から	5号に基づく設計図書の照査を行ってい	サルトフルギャーナ			
				ることが確認できる。		行った。	示に従わなかった。		
					され、所定の項目が記載されているとと 件を反映したものとなっていることが確				
				□ T事期間を通じて、施工計画書(ることが確認できる。	の記載内容と現場施工方法が一致してい				
				□ 現場条件又は計画内容に変更が に変更計画書を提出していること	生じた場合は、その都度当該工事着手前 が確認できる。				
				□ 建設副産物の再利用等への取組	を行っていることが確認できる。				
				□ 作業分担と責任の範囲が書面で	確認できる。				
				ロ 施工体制台帳及び施工体系図を ることが確認できる。	法令等に沿った内容で適確に整備してい				
				ロ コリンズの登録(5百万円以上) る。)が適切に行われていることが確認でき				
				□ 社内検査体制、品質管理体制が 認できる。	確立され、有効に機能していることが確				
				□ 社内の管理基準に基づき管理し ⁻	ていることが確認できる。				
				□ 工事の関係書類を過不足なく作	成していることが確認できる。				
				□ 段階及び立会確認の手続きを事	前に行っていることが確認できる。				
				口 その他(理由:)				
				該当項目の内達成項目が90%以	上······ a				
				該当項目の内達成項目が80%~	9 0 %未満······· b				
		評価率		該当項目の内達成項目が80%未	満······ c				
		評定		※該当項目が2項目以下の場合は	c評価とする。				
		点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・ฝ杏昌田)

考査項目	細別	а	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及 び出来ばえ		□ が項定基お規しきのでは ・	□ が項定基お規しきの終い ・	口 が項定基が規しきののない基わ定満が値である。 出、目のづり格、が現定利力を が項定基が規とである。 が項定基が規しきののでは、 が項定基が規しきののでは、 で定3当 でで33当 でで33当 でで33当 でで33当 でで33当 でで33当	口 が項定基が規しきが必の目 出、目のづり格、が項定者が現在のない基わ定 が項定基が規とでの格内評の が項定基が規しきの係内 記項が 記項が 記項が ののない基わ定 ののない基わ定 でを ののない を ののない ののない を のがのの に のがの のがの	口が項を ・ が項を ・ が項を ・ が項を ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	□ 出来形の測定 方法ス値 方法不適切で工事である。 を持ちされた。 □ 出来形の測定 が入れる。 ・ 対象を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	口 おいます は は ない は は ま ない は は ま 不 い 別 で 検 本 ま い な で 検 っ が た た 修 っ か が っ だ た 終 っ た か が っ ジ が さ か が う が が さ か ず う ず な で は な ま 皆 す な 破 な た に な な 破 た 。
		□ 出来形管理基準 る。 □ 不可視部分の出: □ 社内の管理基準	出来形管理図及び出来形管理 及び写真管理基準が定められ 来形が写真で確認できる。 に基づき管理していることが 管理項目を満足している。	れていない工種について、エ	事監督員と協議の上で管理	していることが確認でき		

様式-5C8-1 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

評定 点数

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 コンク □ 品質関係の測 □ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単 □ 品質関係の測定方法 リート構 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 造物工事 あったため、工事監督 値が不適切で □ コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 行い改善された。 査員が修補指示 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 を行った。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足している ことが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確 認できる。 □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 □ コンクリート打設時までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認で きる。 □ 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 有害なクラックがない。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 a' 75%以上90%未満 □ ばらつきが80%以内 b b' 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b 率 С b' 60%未満 С 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。

様式-5C®-2 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 d b' С 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 3. 出来形 及び出来 該当 評価 評価 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 土工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施しているこ (切土、 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 とが確認できる。 盛土、築 あったため、工事監督 値が不適切で 口 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 堤等工 員が文書で改善指示を あったため、検 行い改善された。 査員が修補指示 □ 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 を行った。 □ 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 □ 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 □ 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 □ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 □ 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 □ CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 □ 法面に有害な亀裂がない。 □ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える а' 90%以上 □ ばらつきが50%以内 а b □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 b' 価 60%以上75%未満 b □ ばらつきが80%を超える b' 率 С h' 60%未満 С ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5C8-3 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

	法] 該当	する項目	に1をフ	入れる。									(土木・検査員用)
評価項目 細 <u>別</u> 3. 出来形	工種	a		a'	b		c d					е	
3. 出来形 及び出来	用排水(コンク	品質関係	の試験	結果のばらつきと評価対象項[目の履行状況(評価率)からキ	判断する。(判断基準参照)							
ばえ Ⅱ. 品質		該当	評価	「評価対象項目」					評価	_1			<u>F価</u>
				□ 製品の構造が設計条件を	満たしていることが確認でき	る。				又は測り	関係の測定方定値が不適切]で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
	リート等の2次製			□ 材料の品質が証明書類で	確認できる。					¯ あった7 員が文‡	ため、工事監 書で改善指示	きを	──」 値が不適切で あったため、検
	品、柵			□ 製品に損傷及び補修痕が	ないことが確認できる。						善された。	_	査員が修補指示
	渠)			□ 転倒や崩壊等がないよう	製品の仮置を行っていること	が確認できる。							を行った。
				□ 設計図書で示された通り	施工していることが確認でき	る。							
				□ 継ぎ目の施工は入念に行	われていることが確認できる	0							
				□ 掘削を行うにあたり、床付	対面以下を乱さないように施コ	Cしていることが確認できる。							
				□ 基礎砂利等の転圧は適切	に行われていることが確認で	きる。							
				□ その他(理由:)							
							Гψι	断基準」					
							, T.	」例至午」	ばら	つきで判断	可能		
				「品質関係の試験結果のばら	つき」				50%以内	80%以内	80%を超える		
				□ ばらつきが50%以内				90%以上	а	a '	b		
				□ ばらつきが80%以内			評	75%以上90%未満	a '	b	b'		
				□ ばらつきが80%を超える			価	60%以上75%未満	b	b'	С		
							' '	60%未満	b'	С	С		
	ŀ	評価率						らつきで判断でき	たい場合け	1			
	1	可圖平	1								×-)		
		評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。		規格	値の80%以内と見る	なして評価	りる。			

様式-5C8-4 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 d b b' С А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 護岸・根 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 固・水制 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 工事、排 □ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で 水路工事 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 査員が修補指示 行い改善された。 を行った。 □ 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 □ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがな いよう行っていることが確認できる。 □ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 □ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足しているこ とが確認できる。 □ 材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 □ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 有害なクラックがない。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 h 75%以上90%未満 口 ばらつきが80%以内 b b' 価 h 口 ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b' 率 С 60%未満 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 占数

様式-5C8-5 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 鋼橋工事 【工場製作関係】 □ 品質関係の測 □ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 (RC床 □ 鋼材の種別を品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 版工事は あったため、工事監督 値が不適切で □ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 員が文書で改善指示を コンク あったため、検 □ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 査員が修補指示 リート構 行い改善された。 造物に準 □ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 を行った。 ずる。堰 ロ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 水門等工 □ 母材、溶接部等に補修痕や欠陥部のないことが確認できる。 場製作を □ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 含む) □ 素地調整程度1種を行った場合、4時間以内に塗装を実施していることが確認できる。 □ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 □ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ 仮組立は、各部が正しく工作され、所定の形状、寸法精度であることが確認できる。 口 その他(理由: 【架設関係】 □ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 │□ 高力ボルトの締め付けを中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 □ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 □ 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 口 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 □ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していること が確認できる。 □ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 □ 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 □ その他(「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 b' b 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 h b' C 率 60%未満 h' С ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 評定 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 点数

様式-5C®-6 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方	法] 該当	する項目に1	を入れる。					(土木・検査員用)
評価項目細別	工種	а	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形		品質関係の記	■ I 试験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(I 評価率)から判断する。(判断基準参照)				
及び出来		該当	平価 「評価対象項目」				評価	評価
ばえ II. 品質	砂防構造	nx = n	【共通】				□ □ □ □ □ □ □ 品質関係の測定方法	□ 品質関係の測
	物工事及		□ 設計図書に定められた品質管理を行って	ていることが確認できる。			スは測定値が不適切で	定方法又は測定
	び地すべ		□ 材料の品質が証明書類で確認できる。				あったため、工事監督	値が不適切で
	り防止工 事(集水			J、コンクリートの品質(強度・w/c、最大¶	材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカ!	J骨材反応抑制等) が確認でき	員が文書で改善指示を 行い改善された。	あったため、検 査員が修補指示
	井戸工事		る。 	施しており、温度・スランプ・空気量等の測定	『結里が確認できる		17. ALE 1.1.C	を行った。
	を含む)			共試体が、当該現場の供試体であることが確認				
				打設時の投入高さ及び締固め方法が、定めら	っれた条件を満足していることが確認できる	る。(寒中及び暑中コンクリー		
			ト等を含む)	¥ + 洪ロー ナハスニ しが疎到でもて				
			□ コンクリートの養生が、設計図書の仕札	東を凋足していることが確認できる。 更な強度に達した後に型枠及び支保工の取り∮	LI を行っていることが確認できる			
			□ 地山との取り合わせを適切に行っている		「しを打っていることが確認とさる。			
			□ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認					
			□ 有害なクラックがない。					
			□ その他()				
			【砂防構造物工事に適用】 	油等の有害物が鉄筋に付着していないよう電	理していることが確認できる			
			□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕		1年0~9~2~3~2~3~2~3~3~3~3~3~3~3~3~3~3~2~3~2~3			
			□ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認る	を行っていることが確認できる。				
			──□ スペーサーの品質及び個数が、設計図割					
			□ 施工基面を平滑に仕上げていることがる □ アンカーの施工が、設計図書の仕様を編					
			□ ボルトの締付確認が実施され、記録を					
				ブレーションを実施していることが確認できる),			
			□ その他()				
			【地すべり対策工事(土工関係)】	r				
			□ 切土面が設計図書で定められた勾配でが □ 盛土面が設計図書で定められた寸法でが					
			□ 施工法面が設計過量で足のうれたがある。 □ 施工法面が平滑に仕上られている。					
			□ その他()				
			【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事	「を含む)】				
			ロ アンカーの施工が、設計図書の仕様を	^{満足していることが確認できる。} 偏心と歪みに配慮して施工していることがで	な まって キュ			
				- 偏心と並みに配慮して他工していることが なくなるように施工していることが確認できる				
				が、適正となるように施工上の配慮をしている				
			□ 杭に損傷及び補修痕がないことが確認で					
				ら杭の施工管理の方法が整備されており、その)記録を整理していることが確認できる。			
			□ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足し □ 溶接の品質管理に関して、設計図書の化					
			□ 冷核の加貝官理に関じて、設計図書の1 □ その他(理由:	LI棟を両足していることが推認できる。)		「判断基準」		
				,		1刊[] 基字]	ばらつきで判断可能	
			「品質関係の試験結果のばらつき」			50%1	以内 80%以内 80%を超える	
			ロ ばらつきが50%以内			評 90%以上 3		
			□ ばらつきが80%以内 □ ばらつきが80%を超える					
			」 はりしらが00mを超んる			率 60% 未満 b		
		評価率				※ばらつきで判断できない場	合は、品質のばらつきを	
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とす	ける。		規格値の80%以内と見なして	評価する。	
		点数						

様式-5C8-7

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b b' С d А 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 |評価||「評価対象項目| ばえ Ⅱ. 品質 海岸工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で □ コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 行い改善された。 査員が修補指示 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 を行った。 □ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適してお り、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確 認できる。 □ コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 町無倒や崩壊等がないようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 □ 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 □ 工事期間中、1 日1 回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 □ 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 □ 有害なクラックがない。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 a' b □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 a' b b' □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 蒸 С h' 60%未満 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5C®-8 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

	法] 該当	する項目	に1をフ	しれる。							(土木・検査員用)
評価項目細別	工種	а		a '	b	b'		С		d	е
2 3. 出来形		品質関係	の試験	 結果のばらつきと評価対象項目の	L D履行状況(評価率)から判断す	」 する。(判断基準参照)					
及び出来		=+ 1/	=π /±	「三					評価		評価
ばえ	د ج بار د ی	該当	評価	「評価対象項目」							****
Ⅱ.品質	舗装工事			【路床・路盤工関係】	ナオイのDDはナツウレイいる	- 1. 187m-30			اللل	□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で	
				□ 設計図書に定められた試験 □ 路床及び路盤エのプルーフ		_ : : : = = = = = = = = = = = = = = = =				あったため、工事監督	
				□ 路床及び路盤工のフルーフ□ 路床及び路盤工(凍上抑制層			確認っ	ミキス		員が文書で改善指示を	
				□ 路外及び暗霊エ (保工時間) □ 路盤の施工に先立って、路						行い改善された。	査員が修補指示
				□ 路盤の安定処理は材料が均			ر ب _{ان} ر				を行った。
				□ 路底の女足を埋めれる。			いるこ	とが確認できる。			
				□ 路床盛土において、構造物			_				
				ことが確認できる。			122				
				□ その他(理由:)					
				【アスファルト舗装工関係】							
				□ アスファルト混合物の品質							
				□ 舗装工の施工にあたって、							
				口 プラント出荷時、現場到着	時、舗設時等において、アスフ	ァルト混合物の温度管理を記録	してし	いることが確認でき			
			-	│ る。 □ 舗設後の交通の開放が、定	めこれも冬州も港ワープロスニ	レが疎辺できる					
				□ 無設後の文通の開放が、足 □ 各層の継ぎ目の位置が、設							
				□ 縦継目及び横継目の位置、			- 1 h	「確認できる			
				□ アスファルト混合物の運搬				HEDU CC O			
				□ 密度管理が設計図書の仕様			Φ 0				
				□ その他(理由:)					
				【コンクリート舗装工関係】		,					
				ロ コンクリートの配合試験等	を行っており、コンクリートの品	品質(強度・w/c、最大骨材粒	径、增	氢化物総量、単位水			
				量、							
				□ 舗装工の施工に先だって、							
				ロ コンクリート受け入れ時に				「確認できる。			
				□ 圧縮強度試験に使用したコ				+ タルナ*#ロレ <i>マ</i> いフ			
				□ 運搬時間、打設方法及び養生 ことが確認できる。	三万法か、他工条件及び気象条件	Fに週しており、設計凶書に定め	りられ	た余件を満足している			
				ここが確認できる。 □ コンクリートの養生が、設	計図書の仕様を満足しているこ	とが確認できる					
				□ 材料が分離しないようコン							
				□ チェアー及びダウエルバー							
				口 その他 (理由:	, c ja ja de a ja de a j)	-	断基準」			
						,	T 13	以至于 3	ばらつ	きで判断可能	
				「品質関係の試験結果のばらつ	き」			50		80%以内 80%を超える	
				口 ばらつきが50%以内			≘π	90%以上	а	a' b	
				□ ばらつきが80%以内			部価	75%以上90%未満	a '	b b'	
				□ ばらつきが80%を超える			蒸	60%以上75%未満	b	b' c	
							'	0 0 /0 1 1 // -)	b'	СС	
		評価率						らつきで判断できなし			
		評定	1	※該当項目が2項目以下の場合	はc評価とする。		規格	値の80%以内と見なし	て評価す	る。	
		点数	1								1

工事番号

様式-5℃®-9

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法	法] 該当	する項目に	こ1をノ	へれる。					(土木・検査員用)
評価項目 別	工種	a		a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形		品質関係の	の試験網	結果のばらつきと評価対象項目の原	履行状況(評価率)から判断する。	(判断基準参照)			
評価項目 別	工種	а	か試験: 評価	の別 「して、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	できない。 はいいしていなが配満 エび上と事がにして、 満記のには、 というでは、 というとのでは、 というには、 といいうには、 といいうには、 といいいいは、 といいいは、 といいいは、 といいいは、 といいいは、 といいいは、 といいは、 とい	(判断基準参照) エ、コンクリート又はモルタルの の浮きていることが確認できる。 分の排水対策を実施してかることが確認できる。) ていることが確認できる。 していることが確認できる。 認できる。 認ば体で認できる。 認ば体で認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 していることが確認できる。 していることが確認できる。 していることが確認できる。 していることが確認できる。 しきことがなることがなることがなる。	欠付工関係) から施工していることが が確認できる。 「判断基準」 509	評価 □ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適いであったとで改改を表でである。 「おいであるでである。 「はらっきで判断可能 い以内 80%以内 80%を超える	
		評価率		□ ばらつきが50%以内□ ばらつきが80%以内□ ばらつきが80%を超える※該当項目が2項目以下の場合は	c評価とする。		60%以上75%未満 60%未満	a a' b a' b b' b b' c b' c c は場合は、品質のばらつきをて評価する。	
		点数		小阪コペロル・と 後日以下の場合は	□□□□□ 【) ② 。		AND THE RESIDENCE SEASON OF THE - II IM 7 W 0		

工事番号

様式 - 5 C ⑧ - 1 0 工事番号 工事成績採点の考查項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

[記入方	法] 該当	4する項目に1を入れる	0				(土木・検査員用)
評価項目	工種	a	a' b	b'	С	d	е
3. 出来形		品質関係の試験結果の)ばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)				
及び出来 ばえ		該当 評価	「評価対象項目」		100	F価	評価
	道路改		[±I]			□ 品質関係の測定方法又	□ 品質関係の測定方法
	良工事		□ 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施している	ることが確認できる。		は測定値が不適切であっ	又は測定値が不適切で
			□ 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 □ 堀削を行うにあたり 床付面以下を利さないように施工していることが確認できる。			たため、工事監督員が文 書で改善指示を行い改善	あったため、検査員が 修補指示を行った。
			□ 掘削を行うにあたり、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 □ 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。			された。	
			□ 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。				
			□ 植生工を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。				
			□ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。				
			□ 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 □ CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。				
			□ 法面に有害な亀裂がない。				
			□ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。				
			□ その他(理由:) 【法面工共通】				
			【本面 上八四】 □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)				
			□ 施工に際して、基面の安定や吹き付け材の付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工して	ていることが確認できる。			
			□ その他(理由:) 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】				
			□ 【権子吹り工、各工吹り工、序層塗材吹り工関係】 □ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。				
			□ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。				
			□ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。				
			□ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 □ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			□ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。				
			□ その他(理由:				
			【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 ──── 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			□ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。				
			□ 金網が破損を生じていないことが確認できる。				
			□ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。				
			□ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。				
			□ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。				
			□ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 □ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。				
			□□ その他(理由:)				
			【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】				
			□ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			□ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 □ 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。				
			□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。				
			□ 枠内に空隙がないことが確認できる。				
			□ 層間にはく離がないことが確認できる。 □ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。				
			口 その他(理由:				
			【路床・路盤工関係】				
			□ 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 □ 路床及び路盤エのブルーフローリングを行っていることが確認できる。				
			□ 路床及び路盤工(凍上抑制層を含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。				
			□ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。				
			□ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認でいる。 □ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できた。				
			■ □				
			□ その他(理由:	_	「判断基準」		
			「口が明体の神経性関のばこった。			ばらつきで判断可能	
			「品質関係の試験結果のばらつき」 □ ばらつきが50%以内		000/151 F	内 80%以内 80%を超える a' b	
			□ ばらつきが80%以内		評 75%以上90%未満 a	b b'	
			□ ばらつきが80%を超える		应 60%以上75%未満 b	b' c	
		評価率	_	L	⁺ 60%未満 b' ※ばらつきで判断できない場合は、	c c c 品質のばらつきを規格値の	
		評定	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。		80%以内と見なして評価する。	AND THE CONTRIBUTION	
	l	点数					

様式-5C®-11 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 基礎工事 □ 品質関係の測 □ 品質関係の測定方法 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】 (地盤改 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 □ 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 良等を含 あったため、工事監督 値が不適切で 員が文書で改善指示を □ 既製杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していること あったため、検 査員が修補指示 が確認できる。 行い改善された。 を行った。 □ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 □ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 □ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 □ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 □ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図 書を満足していることが確認できる。 □ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 □ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 □ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 □ その他(理由: 【地盤改良関係】 □ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 │□ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 □ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 b 75%以上90%未満 □ ばらつきが80%以内 b b' 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b h' 率 C 60%未満 С ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5 C®-1 2 エ事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

評価項目	工種	а		a '	b	b '		С			d		e e
細 別 3. 出来形		品質関係	の試験	 結果のばらつきと評価対象項	┃ 目の履行状況(評価率)から¥	<u> </u> 判断する。(判断基準参照)							
及び出来		該当	評価	「評価対象項目」					≣⊒	·価		評価	i
ばえ Ⅱ. 品質	コンク リート橋	以二		□ コンクリートの配合試験 位水量、アルカリ骨材反応		〜の品質 (強度・w ∕ c 、最ブ	大骨	材粒径、塩化物総量、		 □ 品質 又は測:	関係の測定方法 定値が不適切で	去 で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
				位水量、アルカリ骨材反応 コンクリート受け入れ時 圧縮強度試験に使用した 施工条件や気象条件に適	抑制等)が確認できる。 おり 当高 が できる。 おり 当 きる。 おい か できん は か できん は か できん は か できん は が に か で か で か で か で か で か が こ か きん は が は か らな が い らな い らな	、温度、スランプ、空気量等 該現場の供試体であることが 高さ及び締固め方法が、定め) ることが確認できる。 した後に型枠及び支保工の耳 ることが確認でいよう を満足しないよう管理し とが確認でしていよう とが確認でしていよう とが確認に付着としていよう と外件におかれた供試体 ととが確ししていた供試体 との生様を満いれた供試にしてとが の仕様を満にいることが確認できる。	等がら 取 確し 確いるがき確か 認て 認てこ確る認	測定結果が確認できる。 別できる。。 た条件を満足している。 かしを行っていること できるとが確認できる。 できることができる。 できること認できる。 できる。	るこ	又は測になった文を	定位が、不可能を表現である。	で 図	
				□ ばらつきが50%以内			H	90%以上	а	a '	b		
				□ ばらつきが80%以内				平 75%以上90%未満	a	b	b'		
				□ ばらつきが80%を超える			li z	西 60%以上75%未満	b	b'	c		
								60%未満	b'	С	С		
		<u>評価率</u> 評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。			くばらつきで判断できれ 見格値の80%以内と見な			 ばらつきを		
		占数											

様式-5C®-13

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 d b b' С 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 |評価||「評価対象項目| ばえ Ⅱ. 品質 塗装工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 □ ケレンを入念に実施していることが確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 □ 塗料を使用前に撹拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 を行った。 □ 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。 □ 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 □ 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 □ 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 □ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 評 口 ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 a' h h' 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 率 60%未満 b' ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5C®-14

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 「評価対象項目」 評価 評価 該当 ばえ Ⅱ.品質 □ 品質関係の測 トンネル □ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単 □ 品質関係の測定方法 工事 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認ができる。 あったため、工事監督 値が不適切で □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認 を行った。 できる。 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認でき □ 設計図書に定められた岩区分(支保エパターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 □ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 □ 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 □ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地 山と密着するよう施工していることが確認できる。 □ 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認でき □ ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っ ていることが確認できる。 □ 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが 確認できる。 □ 有害なクラックがない。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 b а a □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 h h' а 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 率 С 60%未満 b' С С ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5C8-15 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 b' d b С 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 該当 評価│「評価対象項目」 評価 評価 ばえ Ⅱ.品質 植栽工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 あったため、工事監督 値が不適切で □ 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 樹木等の生育に害のある害虫等がいないことが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 を行った。 □ 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 □ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 □ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を堀り植穴底部を耕していることが確認できる。 □ 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 □ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 а 75%以上90%未満 b' □ ばらつきが80%以内 b 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 率 С 60%未満 C ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5 C®-1 6

工事成績採点の考査項目別運用表

点数

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b' d b С 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 該当 評価 評価 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ. 品質 公園工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 □ 材料の品質及び形状が設計図書の条件を満足していることが確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 部品の品質及び形状が設計図書の条件を満足していることが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 □ 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書の条件を満足していることが確認できる。 を行った。 □ 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され良好な施工がされていることが確 認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 b 75%以上90%未満 b' □ ばらつきが80%以内 b 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b 率 С b' 60%未満 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

様式-5C®-17

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用)

評価項目細 別	工種	а		a '	b	b'		С			d	,	е
3. 出来形		品質関係	の試験	結果のばらつきと評価対象項	目の履行状況(評価率)からキ	削断する。(判断基準参照)							
及び出来 ばえ		該当	評価	「評価対象項目」						平価		評価	
	河川工事			【河川土工(築堤工等)】							関係の測定方法		コ 品質関係の測
				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	。 うき行っていることが確認でき、	る。			-		定値が不適切で		定方法又は測定
					付面以下を乱さないように施工						ため、工事監督 書で改善指示を		値が不適切で あったため、検
					られた条件を満足しているこ						善された。		査員が修補指示
				ロ 一層あたりのまき出し厚	を管理していることが確認で	きる。							を行った。
				□ 植生工を設計図書に定め	られた条件で行っていること	が確認できる。							
				□ 構造物周辺の締固めを設	計図書に定められた条件で行	っていることが確認できる。							
				□ 法面に有害な亀裂がない	۸,								
				□ 伐開除根作業が設計図書	に定められた条件を満足して	いることが確認できる。							
				口 その他(理由:)							
				【護岸・根固、水制工】									
				□ 施工基面を平滑に仕上げ									
					lぎがなく施工していることが?								
					i所の湧水及び滞水等は、排除		_						
					リートの締固めを空隙が生じ								
				□ 緑化フロック、石積(張いよう行っていることが確	。)、法枠、かごマット等にお *** *** *** *** *** *** *** *** *** **	ける材料のかみ合わせ又は連	結が	、表込材の吸出した	がな				
					iniccる。 大きさ及び重さが設計図書の	仕様を満足していることが確認	忍で	きる。					
					処理が適切であり、必要な強								
					合わせられ、端部処理が設計		_						
				□ 根固工、水制工、沈床工 とが確認できる。	、捨石工等において、材料の	連結及びかみ合わせが設計図	書の	仕様を満足してい	るこ				
				□ 材料の品質が、証明書類	で確認できる。								
				□ コンクリートブロック等	を損傷なく設置していること	が確認できる。							
				□ 埋戻し材料について、設	計図書の仕様を満足している	ことが確認できる。							
				□ 有害なクラックがない。									
				口 その他(理由:)	Γ≇	刂断基準」					
									ld	じらつきで判断	可能		
				「品質関係の試験結果のばら	つき」				50%以	内 80%以内	80%を超える		
				口 ばらつきが50%以内			評	90%以上	а	a'	b		
				口 ばらつきが80%以内			価	75%以上90%未満	a'	b	b'		
				口 ばらつきが80%を超える			率	60%以上75%未満	b	b'	С		
								60%未満	b'	С	С		
		評価率		W==	A . = = Tr - + 7			ばらつきで判断でき			ばらつきを		
		<u>評定</u>		※該当項目が2項目以下の場	f台は c 評価とする。		况作	各値の80%以内と見る。	なし(計 I	·1四9つ。			
		点数											

様式-5C®-18

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

	法] 該当	する項目	に1を	入れる。									(土木・検査員用)
評価項目細 別	工種	а		a '	b	b'		С			d		е
3. 出来形		品質関係	の試験	結果のばらつきと評価対象項目	目の履行状況(評価率)から	判断する。(判断基準参照)			,				
及び出来 ばえ		該当	評価	「評価対象項目」					評価			評価	
Ⅱ.品質	下水道工 事			□ 使用する材料の種類、品	質等が設計図書の仕様を満足	していることが確認できる。					関係の測定方法 定値が不適切で		□ 品質関係の測 定方法又は測定
				□ 管渠止において止水滑材	や接着剤等のはみ出し等がな	こいことが確認できる。					ため、工事監督 書で改善指示を		」 値が不適切で あったため、検
				□ 推進管の裏込め材料が十:	分充填されていることが確認	!できる。					善された。		査員が修補指示
				□ マンホールの足掛金物が.	正確かつ堅固に取り付けられ	、ゆるみを生じていないこと	が確	認できる。					を行った。
				□ 管渠、マンホール、イン	バート等からの漏水がないこ	とが確認できる。							
				□ インバートの表面が、接	続管の直径、管底に合わせて	滑らかに仕上がっていること	が確	認できる。					
				□ 管渠、取り付け管等の目	立った屈曲や沈下がないこと	が確認できる。							
				□ 掘削を行うにあたり、床付	す面以下を乱さないように施工	エしていることが確認できる。							
				□ 締固めが設計図書に定め	られた条件を満足しているこ	とが確認できる。							
				□ 一層あたりのまき出し厚	を管理していることが確認で	きる。							
				□ 構造物周辺の締固めを設 [・]	計図書に定められた条件で行	っていることが確認できる。							
				□ 舗装復旧工が設計図書の	仕様を満足していることが確	認できる。							
				□ 縁石・柵・標識等の道路	附属物の復旧が設計図書の仕	:様を満足していることが確認	でき	る。					
				□ その他(理由:)	Γ≇	刂断基準」					
								77,122 1 3	ばら	つきで判断	可能		
				「品質関係の試験結果のばら	つき」				50%以内	80%以内	80%を超える		
				□ ばらつきが50%以内				90%以上	а	a'	b		
				□ ばらつきが80%以内			評価	75%以上90%未満	a '	b	b'		
				□ ばらつきが80%を超える			率	60%以上75%未満	b	b'	С		
								60%未満	b'	С	С		
		評価率						ばらつきで判断でき			ばらつきを		
		評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。		規格	8値の80%以内と見	なして評価で	する。			
		点数											

様式-5 C®-19 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 d b b' С А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 防護柵 □ 品質関係の測 品質関係の測定方法 │□ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 (網) 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 標識・区 あったため、工事監督 値が不適切で □ 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認でき 画線等設 員が文書で改善指示を あったため、検 置工事 行い改善された。 査員が修補指示 □ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 を行った。 □ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。 │□ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 「ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 ロ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上 であることが確認できる。 □ ペイント式(常温式)区画線にシンナーを使用する場合、使用量が10%以下であることが確認できる。 │□ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 │□ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 □ 区画線を消去の場合、標示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確 認できる。 │□ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 □ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ その他(理由:) 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 а 75%以上90%未満 b' □ ばらつきが80%以内 価 60%以上75%未満 b 口 ばらつきが80%を超える 率 b' С 60%未満 C 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

点数

点数

様式-5C®-20 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表 「記入方法」 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 管水路工 □ 品質関係の測 □ 品質関係の測定方法 □ 材料の品質が証明書類で確認できる。 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 │□ 管及び付属品は、設計図書の仕様に基づき適切に保管されていることが確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で 員が文書で改善指示を あったため、検 □ 設計図書に示された掘削断面が確保され、床付面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 □ 管の布設にあたり、標高、中心線、配管延長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 を行った。 │□ 管体の接合は、設計図書に基づき施工していることが確認できる。 □ 管の下部、側部の締め固めが設計図書に定められた条件で施工していることが確認できる。 □ 配管作業で管内部への土砂等の流入防止に対する措置をしていることが確認できる。 □ 管の吊り込み、据付は十分な注意を払っていることが確認できる。 □ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、 単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 □ コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が 確認できる。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足 していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが 確認できる。 □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 │□ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の什様を満足していることが確認できる。 □ 通水試験(継ぎ目、水張り、水圧)が、設計図書に基づき行っていることが確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 h a ' □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 b b' 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 率 С b' 60%未満 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

様式-5C®-21

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 フィルダ □ 品質関係の測 □ 品質関係の測定方法 □ 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 ムエ事 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 あったため、工事監督 値が不適切で □ 材料の品質が証明書類で確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 行い改善された。 査員が修補指示 □ 基礎処理施工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い適切に実施していることが確認できる。 を行った。 □ 堤体盛立面及び法面は凹凸がなく仕上げられていることが確認できる。 □ 降雨等による影響を避けるためシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 □ 気象条件を考慮した施工が確認できる。 □ コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位 水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 □ コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認でき る。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足している ことが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ コンクリート養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確 認できる。 |口 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 a' b 75%以上90%未満 口 ばらつきが80%以内 а b b' 価 60%以上75%未満 □ ばらつきが80%を超える b 率 С 60%未満 С 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5 C®-2 2 エ事番号 エ事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・検査員用)

評価項目細別	工種	а		a '	b	b'	С		d		е
細 別 3. 出来形		品質のば	らつき	を規格値の80%以内と見なし、	該当項目の達成度により評価	する。				- I	
及び出来 ばえ		該当	評価	「評価対象項目」				評価		評価	
Ⅱ. 品質	施設機械 設備工事			□ 材料の品質が証明書類で	確認できる。				関係の測定方法 定値が不適切で		□ 品質関係の測 定方法又は測定
	(用排水 ポンプ・			□ 設備の機能及び性能が、					ため、工事監督 書で改善指示を		値が不適切で あったため、検
	水門設					として提出していることが確認	忍できる。		善された。		査員が修補指示
	備・除塵 設備・鋼				わる成績書が整理され、品質						を行った。
	設備・鋼 製付属				、設計図書に示すとおり施工						
	品)				設計図書のとおり施工してい						
				□ 配電盤類の関係諸基準に		ことが唯秘できる。 書のとおり配置され、正常に動	かんし たこしが攻刃でき				
				ロ 保証制御設備に Jいて保 る。	作スイクアで表示対が承諾区	者のこのり配置され、正常に到	が下したことが1推認 C C				
					及び保護装置の機能・性能は	、試験成績書類が提出され品質	質確認ができる。				
				□ 電線類の接続部が適切に	処理されていることが確認で	きる。					
				□ 小配管、電気配線、配管	が承諾図書の通り敷設されて	いることが確認できる。					
				□ 設備の取扱説明書は、分	かりやすく工夫されているこ	とが確認できる。					
				□ 取扱説明書には、部品等	の点検及び交換方法、消耗品	リスト等が整備されている。					
				□ 設備構造や機器の配置は	、保守・点検作業を容易にで	きるよう工夫していることが研	寉認できる。				
				□ 基礎ボルトは承諾図書の	とおり配置され、適切に締付	を行っていることが確認できる	3 。				
				ロ シーケンス (操作手順)	に従い正常に動作したことが	確認できる。					
				□ ビット内の電線類は行き	先札が取り付けられ整然と配	置されている。					
				□ 地中電線路等は適切な深	さ及び間隔で配置されている	ことが確認できる。					
				□ 設置工事は適切な深さと	関係諸基準に基づき配置され	ていることが確認できる。					
				□ 溶接の品質管理について	、設計図書に示すとおり施工	していることが確認できる。					
						にまとめていることが確認です					
						態で表示されていることが確言	忍できる。				
					用範囲が見やすく表示されて						
					箇所には、表示又は防護をし	ていることが確認できる。					
				□ その他(理由:)					
				該当項目の内達成項目が90	•						
				該当項目の内達成項目が75							
				該当項目の内達成項目が60							
				該当項目の内達成項目が60	%未満 c						
		評価率									
		評定		※評価対象項目が2項目以下	の場合はc評価とする。						
		点数									

様式-5 C®-2 3 エ事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

/_+ ___

しむしへノノ	ム」) OMDI		べれらる 。					(土木・検査員用)
評価項目 細 <u>別</u> 3. 出来形	工種	а		a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形		該当	E.	「評価対象項目」				評価	評価
及び出来ばえ	維持工事			□ 使用する材料の品質・形できる。	状等が適切であり、かつ現場	において材料確認を適宜・的研	確に行っていることが確認	□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
Ⅱ. 品質				□ 構造物の劣化状況をよく	把握して、適切な対策を施し	ていることが確認できる。		あったため、工事監督 員が文書で改善指示を	値が不適切で あったため、検
				□ 工事監督員の指示事項に 組んでいることが確認でき		施工方法や構造についての提案	案を行うなど積極的に取り	行い改善された。	査員が修補指示 を行った。
				□ 緊急的な作業において、	迅速かつ適切に対応している	ことが確認できる。			
				口 理由()					
				口 理由()					
				口 理由()					
				口 理由()					
				※記載の4項目を必須の評価 は最大8項目とする。	対象項目とし、この他に適宜	で項目を追加して評価するものと	とする。ただし、考査項目		
				※該当項目が6項目以上・・	a				
				該当項目が5項目・・・・	· · · · · · a'				
				該当項目が4項目・・・・	• • • • • b				
				該当項目が3項目・・・・	· · · · · b'				
				該当項目が2項目以下・・	с				
		評定							
		点数							

様式-5 C®-2 4 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(++。绘本昌田)

	- P	, • , , , , ,		711-00					(工小・快旦貝用)
評価項目細 別	上性	а		a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形		品質のば	らつき	を規格値の80%以内と見なし、	該当項目の達成度により評価	話する 。			
及び出来 ばえ		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
Ⅱ. 品質	浚渫工事			□ 作業現場の土質条件、海 船を選定していることが確	象条件、周辺海域の利用状況 認できる。	等を考慮して、安全、かつ、3	効率的な作業が可能な作業	□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
				□ 渴水位、平水位、最高水	位、潮位及び潮流・波浪等の	状況を十分に把握して施工され	れていることが確認できる。	あったため、工事監督 員が文書で改善指示を	価が不適切であったため、検
				□ 既設構造物に影響のない	よう十分に検討して施工して	いることが確認できる。		行い改善された。	査員が修補指示 を行った。
				□ 河川浚渫において、洪水	に備え避難場所の確保及び退	避設備の対策を講じているこ	とが確認できる。		&1) 5/E
				□ 施工区域に標識等を設置	していることが確認できる。				
				□ 濁り防止等環境保全に十	分注意して施工していること	が確認できる。			
				□ 施工の効率、周辺海域等	の利用状況等を考慮して、浚	渫土砂の運搬径路を決定してい	いることが確認できる。		
				□ 浚渫土砂の運搬途中にお	いて、漏出を起こしていない	ことが確認できる。			
				□ 設計図書に土砂処分の区	域及び運搬方法の定めがある	場合、それに従っていることだ	が確認できる。		
				□ その他(理由:)			
				該当項目の内達成項目が90	%以上 a '				
				該当項目の内達成項目が75	%~90%未満…b				
				該当項目の内達成項目が60	%~75%未満… b'				
				該当項目の内達成項目が60	%未満······· c				
		評価率							
		評定		※評価対象項目が2項目以下	の場合はc評価とする。				
		点数							

様式-5C8-25 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

	法] 該当	する項目に	こ1を	入れる。								(土	木・検査員用)
評価項目 細 <u>別</u> 3. 出来形	工種	а		a '	b	b'		С			d		е
3. 出来形		品質関係	の試験	結果のばらつきと評価対象項目	目の履行状況(評価率)から判	判断する。(判断基準参照)						•	
及び出来 ばえ		該当	評価	「評価対象項目」					評価			評価	
Ⅱ.品質	水管橋工 事			□ 材料の品質が証明書類で	確認できる。					又は測り	関係の測定方法定値が不適切で		品質関係の測定方法又は測定
				□ 設備の機能及び性能が、	承諾図書のとおり確保され、	品質の確認ができる。				あった! 員が文:	ため、工事監督 書で改善指示を	l ä	直が不適切で あったため、検
				□ 伸縮継手部の余裕幅が確	保されていることが確認でき	る。				行い改善	善された。	1	査員が修補指示 を行った。
				口 保温材が適切に配置され	ていることが確認できる。							1	211 2720
				□ 据付基準線及び基準高は	設計図書のとおり施工されて	いることが確認できる。							
				□ 基礎ボルトは承諾図書の	とおり配置され、適切に締付	を行っていることが確認でき	る。						
				□ 溶接管理基準の品質管理	項目について、品質管理書類	を整理し品質の確認ができる	0						
				口 その他(理由:)							
							Γ±	判断基準」					
								141年十1	ばらっ	つきで判断	可能		
				「品質関係の試験結果のばら	つき」				50%以内	80%以内	80%を超える		
				□ ばらつきが50%以内				90%以上	а	a'	b		
				ロ ばらつきが80%以内			評	75%以上90%未満	a'	b	b'		
				□ ばらつきが80%を超える			価率	60%以上75%未満	b	b'	С		
								60%未満	b'	С	С		
		評価率						よらつきで判断でき			ばらつきを		
		評定		※該当項目が2項目以下の場	合はc評価とする。			各値の80%以内と見					
		占粉]									

様式-5C®-26 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

П	1	を入れる。	T	T	T		T	<u>(土木・検査員</u> 「
工種		а	a '	b	b'	C	d	е
	品質のばらつ	つきを規格値	の80%以内と見なし、該当項目の	達成度により評価する。				•
	該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
農地造			_ 【共通関係】				□ 品質関係の測定方法又	□ 品質関係の測定方
成工事			□ 材料の品質が証明書類で確	認できる。			は測定値が不適切であっ	フは測定値が不適切
(面関 係・隔			□ 用地境界、使用条件等の確	認が適切に行っていることが確認	忍できる。		たため、工事監督員が文 書で改善指示を行い改善	あったため、検査員 修補指示を行った。
障物)			【面工事関係】				された。	191111111111111111111111111111111111111
			」□ 抜根、排根で根ぶるい、反	転により樹根の付着土が脱落して	こいることが確認できる。			
			□ 石レキの付着土が脱落して					
			□ 石レキ除去で、レキの堆積 確認できる。	場所について、ほ場毎に堆積位置	置計画図を作成し工事監督員の承	諾を受けて施工していることが		
			□ 排レキの堆積に当たり、レ	キ以外の排除物と区分し排除レキ	ғ量が計測しやすいように堆積し	ていることが確認できる。		
			□ 石レキ除去後の跡地は、平	らに均されていることが確認でき	きる。			
			□ 盛土法尻仕上げが適切な条	件で施工していることが確認でき	きる。			
			□ 表土厚の事前調査が適切に	実施していることが確認できる。				
			□ 樹根、レキ等の支障物が除	去されていることが確認できる。				
			☑□ 表土はぎ取りは、雑物等が	混入しないように注意して施工し	していることが確認できる。			
			」□ 降雨後など、ほ場の泥濘化	を助長するような機械作業を行っ	っていないことが確認できる。			
				がなく、集積した表土の流亡対策	6を行っていることが確認できる	•		
			□□ 基盤の盛り立てが適切に行					
				ためシートかけ等の排水対策を実				
				状態のときに行い、土壌改良資材		る。		
				計図書の仕様に基づき適切に保管				
				かりやすく整理されていることか				
				均等に散布するよう留意して行っ を避け行っていることが確認でき				
				を避り打っていることが確認でき 様に基づき適切な時期に行ってし				
				株に基って過ぎな時期に行うでい 付着する状態を避け行っているこ				
			□ 鎮圧は、機械研究に初工が		- C N 'HE IND C C O o			
				っていることが確認できる。 に、けん引方向の計画をたて、エ	「事監督員の承諾を受けてから旅	T」でいることが確認できる		
				に、いんがかにめい画をたて、ユ 深さや間隔が、適切に施工してし		エンでいることが確認ととる。		
				んで作業していることが確認でき				
			□ その他(理由:)			
			【隔障物関係】		,			
				に損傷がないことが確認できる。				
				、緩衝材を用いていることが確認				
			口その他(理由:)			
			 該当項目の内達成項目が90%	N F				
			■該当項目の内達成項目が75% 該当項目の内達成項目が75%					
			■該当項目の内達成項目が60% 該当項目の内達成項目が60%					
			」該当項目の内達成項目が60% 該当項目の内達成項目が60%					
	5π /m da		」以コタロの内廷成項ロかり0%	↑ /				
	評価率		▲ ※評価対象項目が2項目以下の	堪会けっ証価とする				
1	<u>評定</u> 点数			物口はCITIMにする。				

様式-5 C®-2 7 エ事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

5項目に1を入れる。 (土木・絵本昌田)

LHO! TIS.	- P:-			11- 9 0					(工小・快旦貝用)
評価項目 別	工種	а		a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び出来	客土工事	品質のば	らつき	を規格値の80%以内と見なし、	該当項目の達成度により評価	する。			
ばえ		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
Ⅱ.品質				□ 客入土に埋木、石塊、草	本片及び雪塊が混入していな	いことが確認できる。		□ 品質関係の測定方法 □ 又は測定値が不適切で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
				│ │□ 客入量の確認を行った後	、散布されていることが確認	できる。		あったため、工事監督 員が文書で改善指示を	値が不適切で
				□ あらかじめ工事監督員と	土質の確認(抜坪試験・試験)	・・・・ 成績表など)を行っていること	とが確認できる。	員が又書で収害指示を 行い改善された。	あったため、検 査員が修補指示
				□ 運搬に使用するダンプト きる。	ラックー台当たりの積載量を	確認するなど搬入量を的確に管	言理していることが確認で		を行った。
				□ 客入土の大きな土塊は砕	いて散布されていることが確認	認できる。			
	□ ほ場内小運搬は、均等に客入土を分散できるように計画図を作成し行っていることが確認できる。								
	□ 放下整理を適切に行っていることが確認できる。								
				□ 土取場の土砂流亡対策((簡易な整地、水切り等の保守))を行っていることが確認でき	きる。		
				口 その他(理由:)				
				該当項目の内達成項目が90	%以上 a '				
				該当項目の内達成項目が75					
				該当項目の内達成項目が60					
				該当項目の内達成項目が60	%未満······· c				
		評価率							
		評定		※評価対象項目が2項目以下	の場合はc評価とする。				
		点数							

様式-5 C®-2 8

工事成績採点の考査項目別運用表

点数

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 b' d b С А 品質のばらつきを規格値の80%以内と見なし、該当項目の達成度により評価する。 3. 出来形 及び出来 評価│「評価対象項目」 評価 評価 該当 ばえ Ⅱ.品質 暗渠排水 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 材料の品質が証明書類で確認できる。 工事 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 あったため、工事監督 値が不適切で □ 管内に土砂・泥水が入らないように施工していることが確認できる。 員が文書で改善指示を あったため、検 査員が修補指示 □ 施工に先立ち、各ほ場の吸水渠や集水渠の掘削深・勾配の計画したものを監督員の承諾を受け、計画とおり 行い改善された。 行っていることが確認できる。 を行った。 □ 渠底部に凹凸や蛇行がなく、流下勾配が確保されていることが確認できる。 │□ 吸水渠、集水渠の掘削で設計図書の什様に示す最低埋設深が確認できる。 □ 湛水、湧水がある場合、適当な水切り等を設けていることが確認できる。 □ 管の接続及び異形管部への接続が適切に行っていることが確認できる。 □ 疎水材は管敷設後すみやかに投入され、管のずれや土砂の混入がないことが確認できる。 □ 水閘・落口工の埋め戻しは、適切に施工していることが確認できる。 □ 管路の埋め戻しは、適切な状態で行っていることが確認できる。 口 その他(理由: 該当項目の内達成項目が90%以上……。a' 該当項目の内達成項目が75%~90%未満…b |該当項目の内達成項目が60%~75%未満…b' 該当項目の内達成項目が60%未満……c 評価率 ※評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

様式-5C®-29 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (十木・絵杏昌田)

		7 0 75 11	<u> </u>	1100°					(エイ・快宜貝用)
評価項目細 別	工作	а		a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び出来	区画整理工事	品質のば	らつき	を規格値の80%以内と見なし、	•	•			
ばえ		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
Ⅱ.品質				□ 材料の品質が証明書類で	で確認できる。			□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切で	□ 品質関係の測 定方法又は測定
				□ 施工に先立ち地区外の技	非水を遮断し、地区内の地表及	び地下水を排除していることだ	が確認できる。	あったため、工事監督 員が文書で改善指示を	値が不適切で あったため、検
				口 施工に先立ち表土の堆積	責場所を計画し、適切に実施し	ていることが確認できる。		行い改善された。	査員が修補指示 を行った。
				□ 表土厚の事前調査が適切	77に実施していることが確認で	きる。			を打つた。
	□ 表土はぎ取りは、雑物等が混入しないように注意して施工していることが確認できる。								
				□ 降雨後など、ほ場の泥濘	a化を助長するよ う な機械作業	を行っていないことが確認でき	きる。		
				口 表土の基盤への混入や遊	色散がなく、集積した表土の流	亡対策を行っていることが確詞	忍できる。		
				□ 基盤の盛り立てが適切に	こ行っていることが確認できる	0			
				□ 暗渠排水工は設計図書と	こおり行っていることが確認で	きる。			
				□ 用・排水路は設計図書と	:おり行っていることが確認で				
				□ コンクリート二次製品の	O吊り込み、据付は十分な注意	を払っていることが確認できる	5.		
				□ その他(理由:)			
				該当項目の内達成項目が90)%以上······· a '				
				該当項目の内達成項目が75	5 %~ 9 0 %未満⋯ b				
				該当項目の内達成項目が60) %~75%未満…b'				
				該当項目の内達成項目が60) %未満⋯⋯⋯ c				
		評価率							
		評定		※評価対象項目が2項目以	下の場合は c 評価とする。				
		占数							

様式-5 C®-3 O 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

評価項目	工種	а		a '	h	h'	С	d	(工作
細 別 3. 出来形		-		-		~	U	u u	е
及び出来	電気通信設備工事					9 ৩ .		T1	TT
ばえ		該当		「評価対象項目」				評価	評価
Ⅱ.品質			<u> </u>			施していることが確認できる。		□ 品質関係の測定方法 □ 又は測定値が不適切で	□ 品質関係の測 □ 定方法又は測定
				□ 材料・部品の品質照合の □ ことが確認できる。	結果が品質保証書等(現物照	合を含む)で確認でき、設計図	図書の仕様を満足している	あったため、工事監督 員が文書で改善指示を	値が不適切で あったため、検
				□ 機器の品質、機能及び性	能が設計図書を満足して、成	績書にまとめられていることだ	が確認できる。	行い改善された。	査員が修補指示 を行った。
				□ 操作スイッチや表示灯が	承諾図書のとおり配置され、	操作性に優れていることが確認	忍できる。		を13つた。
				□ 地中電線路等は適切な深	さ及び間隔で配置されている	0			
				□ 設置工事は適切な深さと	関係諸基準に基づき配置され	ている。			
				ロ ケーブル及び配管の接続 認できる。	などの作業が、施工計画書に	記載された手順に沿って行われ	れ、不具合がないことが確		
				□ 設備の機能及び性能が、	設計図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。			
				□ 操作制御関係の機能及び 動が確認できる。	性能が、設計図書の仕様を満	足しているとともに、必要な5	安全装置及び保護装置の作		
				□ 設備の総合性能が、設計	図書の仕様を満足しているこ	とが確認できる。			
				□ 現場条件によって機器(が確認できる。	製品)の機能及び性能が確認で	きない場合において、工場試験	倹などで確認していること		
				□ 設備全体についての取扱 とが確認できる。	説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、何	修正又は更新)しているこ		
				□ 完成図書で定期的な点検	や交換を要する部品及び箇所	を明示していることが確認でる	きる。		
				□ 設備の構造において、点	検や消耗品の取替え作業が容	易にできるよう工夫しているこ	ことが確認できる。		
				□ その他(理由:)			
				 該当項目の内達成項目が90	%以上······· a '				
				該当項目の内達成項目が75	%~90%未満… b				
				該当項目の内達成項目が60					
				該当項目の内達成項目が60					
		評価率							
			 	 ※評価対象項目が2項目以下	の場合はc評価とする				
		評定			47-20 H 100 O E I IMIC 7 .00 0				
		点数							

様式-5℃®-31

評価項目	工種		a	a '	b	ь,	С	d	е
2. 出来形及び出来ば		品質関係の試験結	果のばらつきと評価	「対象項目の履行状況(評価率)から判断する	る。(判断基準参照)				1
ž		該当	評価	「評価対象項目」	V (1741)22-1-2-7/(17			評価	評価
Ⅱ.品質	外構工事	100	DI IM	【土工】				□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であっ	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適
11. 前貝	外情工争			□ 締固めが設計図書に定められた条件を消	共見していることが確認できる				切であったため、検査員が修補指示を
				□ 一層あたりのまき出し厚を管理している				された。	行った。
				□ 構造物周辺の締固めを設計図書に定め	られた条件で行っていることが確認できる。				
				□ 掘削を行うにあたり、床付面以下を利さ	ないように施工していることが確認できる。				
				□ 段切りを設計図書に基づき行っているこ	とが確認できる。				
				□ 法面に有害な亀裂がない。					
				□ 伐開除根作業が設計図書に定められた剣	条件を満足していることが確認できる。				
				□ その他 (理由)					
				【路床・路盤工関係】					
				□ 吹中及び吹船工(浦上畑制屋を合む)の3	密度管理が、設計図書の仕様を満足しているこ	とが確認できる。			
				□ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう	5施工していることが確認できる。 5施工していることが確認できる。 5.6を10年10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日				
				□ 路盤の施工に先立って、路床面、下層針	各盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工	していることが確認できる。			
				□ 始床強工においく、一層の仕上かり厚る	と20cm以下2し、合眉ことに樗回の(肥工	.していることが雑誌できる。			
				□ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や	P狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型	!締固め機械により施工していることが確認	できる。		
				□ その他(理由)					
				【アスファルト舗装工関係】					
				□ アスファルト混合物の品質が、配合設計	†等により確認できる。	47.48 L L T L L L T			
				□ ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等□ 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き	等において、アスファルト混合物の温度管理を き石などの有害物を除去していることが確認で	"配鋏していることが催起できる。			
				□ 舗装工の施工にあたって、給頭面の浮さ □ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定め	e 石などの有音物を除去していることが確認できる。 かられた数値以上であることが確認できる。	ಕ ೪ .			
					g合面の処理等が、設計図書の仕様を満足して	コステレが確認できる			
					actionの近往寺が、畝町園書のはほど編定して あたって、気象条件を配慮していることが確認	できる			
				□ 密度管理が設計図書の仕様を満足してL	いることが確認できる。				
				□ その他(理由)	U = C				
				【コンクリート工関係】					
				□ コンクリートの配合試験等を行っており	J、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨	材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ	骨材反応抑制等)が確認できる。		
				□ コンクリート受け入れ時に必要な試験 8	を実施しており、温度、スランブ、空気量等の)測定結果が確認できる。			
1	1			□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート付	共試体が、当該現場の供試体であることが確認	!できる。			
1	1			口、施工条件や気象条件に適した運搬時間、	打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められ	れた条件を満足していることが確認できる。	(寒中及び暑中コンクリート等を		
1	1			含む)					
1	1	<u> </u>		□ コンクリートの養生が、設計図書の仕村	東を満足していることが確認できる。				
1	1	-		ロ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要	長な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外	・しを行っていることが確認できる。			
				□ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理	里を適切に行っていることが確認できる。				
				□ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。	h等の左字輪が徐笠に仕美したい L 3 祭理して	リンスー しが取出 マキス			
				□ コングリート打放まじにさび、とう、2 □ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕札	由等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理して * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	いることが難認じさる。			
				□ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認さ	*で何たしていることが確認できる。 と行っていることが確認できる				
				□ スペーサーの品質及び個数が、設計図1					
				□ 有害なクラックがない。	TO LIKE MACO CO OCCO MEMOCCO O				
				□ その他(理由)					
				【基礎工事関係 (地盤改良を含む)】					
				□ 杭に損傷及び補修痕がないことが確認で	できる。				
				□ 既製杭の打止め管理の方法及び場所打ち	5杭の施工管理の方法が整備されており、その	記録を整理していることが確認できる。			
				□ 杭頭処理において、杭本体を損傷してし					
				小平度、鉛直度等が、設計図書を満足し					
				□ 溶接の品質管理に関して、設計図書の付	±様を満足していることが確認できる。				
				□ 支持地盤に達していることが、掘削深さ	き、掘削土砂等により確認できる。				
				□ 場所打杭について、トレミー管をコンク	フリート内に2m以上挿入して施工しているこ	とが確認できる。			
				□ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及□ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリー	及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並	【ひに比重等が、設計図書を満足しているこ	とが確認できる。		
					- ト打設等が、設計図書の仕様を満足している	ことが健認できる。			
				□ 強度確認、セメントミルクの比重管理を□ 改良材の管理記録が整理され、設計図書	などの品質に係わる事項の管理資料を整理して 書の仕様を満足していることが確認できる。	いることが難認じさる。			
				以及何の旨理記録が登埋され、設計図目カメントミルクの比断 フラリー暗出	eの仕様を満足していることが確認できる。 ≧、強度等の管理資料を整理していることが確	物できる			
				□ 車前に十質試験を実施し 改良材の選問	E、必要添加量の設定等を行っていることが確	物できる			
				□ 静前に工員試験を実施し、成長者の送り □ 施工箇所が均一に改良されているととも	E、必要添加量の設定等を行っていることが幅 bに、十分な強度及び支持力を確保しているこ	とが確認できる。			
1	1			□ その他(理由)					
				【排水工関係(暗渠排水を含む)】					
1	1			□ 製品に損傷及び補修痕がないことが確認	忍できる。				
1	1			□ 暗渠の流下勾配が確保されている。					
				一 その他(理由)					
				【植生・植栽工関係】					
1	1			□ 植生工を設計図書に定められた条件で行	テっていることが確認できる。				
				□ 活着が促されるよう管理していることが	が確認できる。				
		-		□ 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよ	う保護養生を行っていることが確認できる。				
1	1	——		□ 樹木等の生育に害のある害虫等がいなし□ 施工完了後、余剰枝の煎定、整形その他					
1	1			□ 施工元 「俊、宗刺枝の剪定、登形その他□ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均-	必要な手入れを行っていることが確認できる。 - に旃卵していることが確認できる	•			
					った肥肥していることが確認できる。 でを堀り植穴底部を耕していることが確認でき	· & -			
				□ 添木をぐらつきがないよう設置している	ることが確認できる。				
1	1			口 その他(理由)					
1	1			【グランド・コート舗装工関係】					
				□ グランド・コート舗装工に使用する材料	料の品質が、証明書類で確認できる。				
1	1	L		□ 密度管理が設計図書の仕様を満足してし	いることが確認できる。				
				□ その他(理由)					
1	1			【その他施設関係】					
				□ 柵等の鋼製品・コンクリート製品等が割	役計図書等に定められた条件を満足しているこ	とが確認できる。			
1	1			□ 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書等	şに定められた条件を満足していることが確認	できる。			
1	1			□ その他(理由)			「判断基準」	17.7 - 4 - WW - 44	
								ばらつきで判断可能	
1	1	L		「品質関係の試験結果のばらつき」			000 N F	以内 80%以内 80%を超える	
1	1	<u> </u>		□ ばらつきが50%以内□ ばらつきが80%以内			評 90%以上 75%以上90%未満 8	a a' b	
1	1	——					100 DI L 250 + 20	a' b b'	
				□ ばらつきが80%を超える				- 0 0	
		** /* dr					- NAVI 00		
1	1	評価率 評定	1	※該当項目が2項目以下の場合はc評価とす	rā.		※ばらつきで判断できない場合は、品質の	ばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。	
		点数		小田コスロル・2 外口が I・2 切口は C 計画 C)	, a.o				
		00						•	

様式-5 C®-3 2 エ事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(十十,烩本昌田)

「ロロンイン」	A) MA	, w-XIII	 V110 00 0					(エヘ・快宜貝用)
評価項目 別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
<u>細 別</u> 3. 出来形 みび出来	工種 修繕工事	a 該当	「評価対象項目」 □ 使用する材料の品質・形できる。 □ 構造物の劣化状況をよく □ 北事監督員の指示事項に組んでいることが確認でき □ 施工後のメンテナンスに □ 理由() □ 理由() □ 理由()	状等が適切であり、かつ現場 把握して、適切な対策を施し、 対して、現地状況を勘案し、する。 対する提言や修繕サイクル等 対象項目とし、この他に適宜: ・・・・a ・・・・b	において材料確認を適宜・的研	上 確に行っていることが確認 案を行うなど積極的に取り ることが確認できる。	は測定を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	
			該当項目が2項目以上・・	· · · · · · c				
		評定						
		点数						

	五」	する項目に 1	を入れる。						(土木・検査員用	
価項目	工種		a	a '	b	b'	С	d	е	
出来形		品質関係の	試験結果のば	」 らつきと評価対象項目の履行状況(評価率)か	I ら判断する。(判断基準参照)	<u> </u>		_		
び出来		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価	
え 品質	急傾斜地	nx =	штш	【共通】				□ 品質関係の測定方法又	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
	崩壊防止			□ 材料の品質が証明書類で確認できる。				は測定値が不適切であっ	又は測定値が不適切で	
	工事			[土工]				たため、工事監督員が文	あったため、検査員が	
					忍できる。 (特に法枠工、コンクリート又はモノ			書で改善指示を行い改善された。	修補指示を行った。	
					D付着に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除る			210/20		
					らないよう締固めを十分行っていることが確認っ fiにシートをかける等の排水対策を実施している					
				□ 附がによる朋場が起こらないように、法則□ 段切りを設計図書に基づき行っていること		ることが惟秘できる。				
	•			□ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件						
		□ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。								
				□ 土羽土の土質が設計図書を満足しているこ	ことが確認できる。					
				□ 法面に有害な亀裂がない。						
				□ その他(理由) 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関	9/61					
					□ 土壌試験の結果を施工に反映していること					
				□ ネットなどの境界に隙間が生じていない。						
				□ ネットなどが破損を生じていないことが	隹認できる。					
				ロ 吹付け厚さが均等であることが確認できる						
				□ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計 □ 施工時期が定められた条件を満足している	†図書の仕様を満足していることが確認できる。 マ= kが確認できる					
				□ 売工時期が定められた条件を満定している □ その他(理由:	うことが唯能できる。					
				【コンクリート又はモルタル吹付工関係】	,					
					g計図書の仕様を満足していることが確認でき <i>る</i>	3 .				
	ĺ			□ 金網の重ね幅が、10cm以上確保される						
				□ 金網が破損を生じていないことが確認でき						
				□ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水さ□ 吹付け厚さが均等であることが確認できる	させてから施工していることが確認できる。					
				ロ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して別						
	•				H試体が、当該現場の供試体であることが確認で	できる。				
				□ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処						
				□ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き	き込んで施工していることが確認できる。					
				□ その他(理由: 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)					
					」/ 】 g計図書の仕様を満足していることが確認できる	5.				
				ロ アンカーを設計図書どおりの長さで施工し						
				□ 現場養生が、設計図書の仕様を満足する。						
					式体が当該現場の供試体であることが確認できる	5.				
				□ 枠内に空隙がないことが確認できる。						
			1	□ 層間にはく離がないことが確認できる。□ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の	ル理を行っていることが確認できる					
				口 有害なクラックがない。	LLC., JCT WELL CC 00					
				□ その他(理由)						
	ĺ			【土留め柵関係】	-					
				□ 杭に損傷及び補修痕がないことが確認でき						
				□ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足して□ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様						
				□ 地山とのすりつけが適切に行われている。						
					- これに記している。 Lされており、工事終了後の沈下がないことがG	寉認できる。				
			·	口 その他(理由:)		「判断基準」			
								ばらつきで判断可能		
			-	「品質関係の試験結果のばらつき」 □ ばらつきが50%以内			00% N. F	0%以内 80%以内 80%を超える a a' b		
				口 ばらつきが80%以内			計 750 い ト 000 土 2 サ	a a' b a' b b'		
				口 ばらつきが80%を超える			価 60%以上75%未満	b b' c		
							60%未満	b' c c		
		評価率		WELVETO 18				は、品質のばらつきを規格値の		
		評定		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする	5.		80%以内と見なして評価する。	1		

様式-5C®-34 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

	法] 該当	する項目	に1を	入れる。								(土木・検査員用)	
評価項目細別	工種	а		a '	b	b'		С			d	е	
細 別 3. 出来形 及び出来	防雪柵式導標 · 防定誘转	品質関係	の試験	結果のばらつきと評価対象項目	目の履行状況(評価率)から	判断する。(判断基準参照)			•				
ばえ		該当	評価	「評価対象項目」					評価			評価	
Ⅱ.品質		□ 材料の品質が証明書類で確認できる。									関係の測定方法 定値が不適切で	□ 品質関係の測	
				□ 塗装の適切性が設計図書	と確認でき、証明書が整備さ	れている。				あった	ため、工事監督	定方法又は測定 値が不適切で	
				□ 部材の組み立てが適切であることが確認できる。							員が文書で改善指示を 行い改善された。	あったため、検 査員が修補指示	
	設置工事			□ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。								を行った。	
				── □ 基礎コンクリートの強度・スランプ・空気量等が確認できる。(現場打ちの場合)									
			□ 基礎ブロックが設計図書に基づき合格した製品であることが確認できる。 (二次製品の場合)										
		□ ワイヤーロープ結合部の処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。											
					ついて周辺の地盤を緩めるこ	となく、かつ、滑動しないよ	うにカ	施工されているこ	とが				
				確認できる。 □ その他(理由:		,							
				口 ての他(理由:)							
							Γ¥I	断基準」					
									ばらっ	つきで判断	可能		
				「品質関係の試験結果のばら	つき」				50%以内	80%以内	80%を超える		
				ロ ばらつきが50%以内				90%以上	а	a'	b		
				□ ばらつきが80%以内			評価	75%以上90%未満	a'	b	b'		
				口 ばらつきが80%を超える			率	60%以上75%未満	b	b'	С		
								60%未満	b'	С	С		
		評価率					※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを						
		 評定		※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 規格値の80%以内と見なして評価する。									
		点数											

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

し記入力と	5」 該当	する頃日に	こ1を入れ	<i>、</i> る。					(土木・検査員用)
評価項目 別	工種	1	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形		品質関係	の試験結果	果のばらつきと評価対象項目の履行状況	(評価率)から判断する。(判断基準参照)			
及び出来		=+ \//	=π /π:	[年/元七年-王口。				=x/x	=== /==
ばえ		該当	評価	「評価対象項目」				評価	評価
Ⅱ. 品質	治山工事	!		【共通】				□ 品質関係の測定方法又	□ 品質関係の測定方法
				□ 設計図書に定められた品質管理を行	っていることが確認できる。			は測定値が不適切であっ	又は測定値が不適切で
				□ 材料の品質が証明書類で確認できる。	•			たため、工事監督員が文 書で改善指示を行い改善	あったため、検査員が
				□ 法面に有害な亀裂がない。				音で収音指示を行い収音 された。	修補指示を行った。
				【コンクリートエ】				C10/_0	
					おり、コンクリートの品質(強度・w/c、	最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、	アルカリ骨材反応抑制等)		
				が確認できる。					
					験を実施しており、温度、スランプ、空気				
					ト供試体が、当該現場の供試体であること				
					間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、	定められた条件を満足していることが確	認できる。(寒中及ひ暑中		
				コンクリート等を含む) □ コンクリートの養生が、設計図書の∮	仕様太漢見していることが疎認がきる				
					山稼を満足していることが確認できる。 必要な強度に達した後に型枠及び支保工0	カ取りめした行っていることが疎認できる	Z		
					必要な強度に達した後に坐杵及び又休工0 処理を適切に行っていることが確認できる		ა,		
					処理を適切に11つていることが確認できる	ၿ.			
				□ 有害なクラックがない □ その他(理由:	,				
				ローでの他(理由: 【緑化工、植栽工】	,				
		ļ		【縁心工、恒叔工】 □ 施工基面を平滑に仕上げていること:	が確認できる				
				□ 土壌試験の結果を施工に反映してい					
				□ ネットなどの境界に隙間が生じてい					
				□ ネットなどが破損を生じていないこ					
				□ 吹付け厚さが均等であることが確認					
				□ 生芝は枯損がなく良好であることが					
				□ 伏工等材料が施工面に凹凸がなく密					
				□ 施工時期が定められた条件を満足し					
					改良材施工等が設計図書の仕様を満足する	ることが確認できる。			
					が設計図書の仕様を満足することが確認で				
					均一に施肥されていることが確認できる。				
				□ その他(理由:)				
				【現場打法枠工、プレキャスト法枠工関係	£]				
				□ 使用する材料の種類、品質及び配合	が、設計図書の仕様を満足していることが	が確認できる。			
				口 アンカーを設計図書どおりの長さです。	施工していることが確認できる。				
				□ 現場養生が、設計図書の仕様を満足	するように実施されていることが確認でき	きる。			
				□ 圧縮強度試験に使用したコンクリー	ト供試体が当該現場の供試体であることだ	が確認できる。			
				□ 枠内に空隙がないことが確認できる。	0				
				□ 層間にはく離がないことが確認でき	る。				
				□ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材	料の処理を行っていることが確認できる。				
				□ その他(理由:)				
				【土留工、護岸工等(ブロック・鋼製枠					
				□ 施工基面を平滑に仕上げていること					
					が設計図書で定められたものであり、欠損	員等がない。			
				□ 木製材料に有害な腐れ、割れ、曲り					
					一トの締固めを空隙が生じないよう十分				
					必要な強度及び水密性を確保していること	とが確認できる。			
				□ 部材の取り付けが設計図書の仕様を					
					れ、端部処理が設計図書の仕様を満足して				
				口 その他(理由:)		「判断基準」	1 th hand the state of the	
		$\vdash \vdash \vdash$		「口原則なの計験対用のばこった			500	ばらつきで判断可能	
		$\vdash \vdash \vdash$		「品質関係の試験結果のばらつき」				以内 80%以内 80%を超える	1
		\vdash		□ ばらつきが50%以内 □ ばこつきが90%以内			計 75% N L 00% 土 : #	a a' b a' b b'	
		\vdash		□ ばらつきが80%以内 □ ばらつきが80%を超える			価 60% DL 上 75% 土 港		1
		\vdash		□ はりノさか00%を起んる				b b' c	
		評価率		1				0 0	1
		評定		 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価。	とする.		80%以内と見なして評価する。		
		点数			<u></u>				

様式-5C®-36 工事番号 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 C 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 「評価対象項目」 評価 評価 Ⅱ.品質 林道工事 【共通】 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 は測定値が不適切であっ たため、工事監督員が文 又は測定値が不適切で あったため、検査員が 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 □ 材料の品質が証明書類で確認できる。 書で改善指示を行い改善 修補指示を行った。 □ その他(理由: 【土工・路盤工】 □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ 雨水による崩壊が起こらないように、法頭や法尻の排水路、法面のシートかけ等の排水対策を実施していることが確認できる。 口 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 □ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 締固めを適切な施工条件で施工している。 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 □ 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 □ CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 法面に有害な亀裂がない。 □ 路床及び路盤エのプルーフローリングを行っていることが確認できる。 □ 路床及び路盤工(凍上抑制層を含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 □ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 □ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 □ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 □ セメント・アスファルト乳剤安定処理の材料使用量管理及び施工管理が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 口 その他(理由: 【緑化工】 □ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 □ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 生芝は枯損がなく良好であることが確認できる。 張芝材料が施工面に凹凸がなく密着していることが確認できる。 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 【その他構造物(管渠・ブロック・鋼製枠・籠・木製等)工】 ロコンクリートニ次製品等の規格寸法が設計図書で定められたものであり、欠損等がないことが確認できる。 □ 木製材料に有害な腐れ、割れ、曲り等の欠陥がないことが確認できる。 基礎材、裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ 部材の取り付けが設計図書の仕様を満足することが確認できる。 シート等が所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ その他(理由: 【コンクリートエ】 コンクリートの配合試験等を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 ロ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 □ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 □□ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 口 有害なクラックがない。 □ その他(理由: 【アスファルト舗装工関係】 □ アスファルト混合物の品質が、配合設計等により確認できる。 □ 舗装工の施工にあたって、路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 □ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 □ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 a' □ ばらつきが80%以内 75%以上90%未満 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b' С С ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の 評価率評定 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 80%以内と見なして評価する。

様式-5 C®-3 7

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 b' d b С е 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 該当 評価 評価 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 木製構造 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 設計図書に定められた品質管理を行っていることが確認できる。 物工事 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 □ 材料の品質が証明書類で確認できる。 あったため、工事監督 値が不適切で あったため、検査員が修補指示 員が文書で改善指示を □ 材料に有害な腐れ、割れ、曲り等の欠陥がないことが確認できる。 行い改善された。 を行った。 □ 部材の取り付けが設計図書の仕様を満足することが確認できる。 □ 裏込材、中詰材の締固めが充分で空隙が生じていない。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える □ ばらつきが50%以内 90%以上 b a ' 75%以上90%未満 b' □ ばらつきが80%以内 価 口 ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 率 60%未満 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

様式-5C8-38 工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b' d b С А 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価│「評価対象項目」 評価 評価 該当 ばえ Ⅱ.品質 魚礁工事 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 鋼材の規格・数量が証明書類で確認できる。 (鋼製魚 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 礁の場 あったため、工事監督 値が不適切で □ 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう管理していることが確認できる。 合) 員が文書で改善指示を あったため、検 査員が修補指示 行い改善された。 □ 溶接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 を行った。 □ 現場組立における主要作業に従事する者は、製作工場派遣作業員またはこれと同等以上の技量を有したもので あることが確認できる。 □ 溶接に先立ち、開先が適切か否か確認を行っていることを確認できる。 □ 溶接に先立ち、溶接に支障となるものの除去の確認を行っていることを確認できる。 □ 溶接材料が水産土木工事共通仕様書の仕様を満足することが確認できる。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 b a 75%以上90%未満 口 ばらつきが80%以内 b 価 口 ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 婡 С 60%未満 С С 評価率 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定 点数

工事番号 様式-5C8-39

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b' d b С е 3. 出来形 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 該当 評価 評価 評価 | 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 増殖場工 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の測 □ 自然石の延長、幅、高さが設計図書の仕様を満足することが確認できる。 定方法又は測定 事(転石 又は測定値が不適切で あったため、工事監督 値が不適切で □ 石材の比重(単位体積、総重量)が確認できる。 あったため、検査員が修補指示 員が文書で改善指示を 行い改善された。 □ 石材の転置、運搬が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 を行った。 □ 石材の保管管理が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 口 その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 口 ばらつきが50%以内 90%以上 a' b 75%以上90%未満 h b' □ ばらつきが80%以内 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 b b' 率 С 60%未満 ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

様式-5C®-40

点数

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。 (土木・検査員用) 評価項目 工種 a' b b' С d А 3. 出来形 |品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照) 及び出来 評価 評価 該当 評価 「評価対象項目」 ばえ Ⅱ.品質 魚礁•増 □ コンクリートの配合試験等が行われており、コンクリートの品質(強度・W/C・最大骨材粒径・アルカリ骨材反 □ 品質関係の測 品質関係の測定方法 殖場工事 応抑制等)が確認できる。 又は測定値が不適切で 定方法又は測定 (コンク あったため、工事監督 値が不適切で □ コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 リートブ 員が文書で改善指示を あったため、検 ロックの □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 行い改善された。 査員が修補指示 場合) を行った。 □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足してい ることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確 認できる。 □ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 │□ コンクリート打設時までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着していないよう管理していることが確認で きる。 □ 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 │□ 有害なクラックがない。 □ 施工中、水槽、散水等により母藻プレートが適切に管理されていることが確認できる。 □ 使用した母藻プレートの品質(海藻の株数等)が確認できる。 □ 採苗施設の設置が設計図書の仕様を満足し、適正な時期までに行っていることが確認できる。 □ 設置後の採苗施設が設計図書の仕様を満足し、適切に管理していることが確認できる。 □ その他(理由: 「判断基準」 ばらつきで判断可能 「品質関係の試験結果のばらつき」 50%以内 80%以内 80%を超える 90%以上 口 ばらつきが50%以内 b а 75%以上90%未満 □ ばらつきが80%以内 h h' 価 □ ばらつきが80%を超える 60%以上75%未満 h b' 蒸 С 60%未満 C C ※ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを 評価率 規格値の80%以内と見なして評価する。 ※該当項目が2項目以下の場合はc評価とする。 評定

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

		7 0 - 7 1	11-1-2	(100)											(エル・	<u> </u>
評価項目 細 <u>別</u> 3. 出来形	工種		а	a '	b	b'		С				d			е	
3. 出来形 及び出来		品質関係	系の試験	結果のばらつきと評価	西対象項目の履行状況	!(評価率)から判断す	する。	(判断基準参照)					•			
ばえ		該当	評価	「評価対象項目」						評価				評価		
Ⅱ. 品質	品質 農 地造成工			【共通関係】								関係の測定方 定値が不適切]		係の測定方 定値が不適
	事(パ			□ 材料の品質が証明	明書類で確認できる。						あったカ	とめ、工事監	督		切であっ	たため、検
	ドック)			□ 用地境界、使用组	条件等の確認が適切に	二行っていることが確	認で	きる。				書で改善指示 善された。	きを		査員が修 行った。	補指示を
											1,10 -50,1	1 6 17760			1, 2,20	
				【パドック関係】												
				□ 路床の品質管理る	を適切に実施している	らことが確認できる。										
				□ 路盤の品質管理る	を適切に実施している	らことが確認できる。										
				□ 凍上抑制層の品質	質管理を適切に実施し	、ていることが確認で	きる。									
					を適切に実施している	らことが確認できる。										
				口 その他(理由:)								
							[半]	断基準」	1							
				 「品質関係の試験結!	用のげこのもし				= 00/		つきで判断					
								T	50%	以内	80%以内	80%を超える				
				口 ばらつきが50%以			評	90%以上		а ,	a '	b				
				口 ばらつきが80%以			価	75%以上90%未満	a	-	b	b'				
				□ ばらつきが80%を	·超える		値	60%以上75%未満	<u> </u>	0	b'	С				
								60%未満	b)	С	С				
		評価率		W=+ W-T D 18T - :		L =		らつきで判断でき 格値の80%以内と				ばらつき				
		評定		※該当項目が2項目↓	以下の場合は c 評価と	:する。	<i>Œ እ</i> ክ	ᇄᇄᄵᄼ	ではし	・C 百千1 	囲みめ。					
		点数														

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・検査員用)

	יש ל ביאו נו	~ LI '-		יט ט	0			(工作 成且只)
評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	コンクリート構造物工				コンクリート構造物の表面	状態が良い。		
	事 (海岸エ 事、トンネ ルエ事を含				コンクリート構造物の通り			
	む)				天端仕上げ、端部仕上げ等	が良い。		
					クラック(無害なクラックる	を含む)がない。		
					漏水がない。			
					全体的な美観が良い。			,
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γį	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	土工事(切 土、盛土、 築堤等工事)				仕上げが良い。			
	采坂守工争)				通りが良い。			
					天端及び端部の仕上げが良り	, v _o		
					構造物へのすりつけ等が良り	, \ _o		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	占数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・検杏昌用)

		· · · ·		, , ,	O .			(工作
評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	舗装工事				舗装の平坦性が良い。			
					構造物の通りが良い。			
					端部処理が良い。			
					構造物へのすりつけ等が良	L1°		
					雨水処理が良い。			
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価			=	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

				· · ·			(— I NEXTIN
評価項目 細別	上作			a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	法面工事			□ 通りが良い。			
				□ 植生、吹付等の状態が均一で	ごある 。		
				□ 端部処理が良い。			
				口 全体的な美観が良い。			
				該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
				3 項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c		
				2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d		
				1 項目以上評価・・・c			
	評価			評価項目なし・・・・d			
	点数						

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	鋼橋工事 (RC床版 工事はコン				表面に補修箇所がない。			
	クリート構造物に準ず				部材表面に傷、錆がない。			
	る。堰、水 門等工場製				溶接に均一性がある。			
	作を含む)				塗装に均一性がある。			
					全体的な美観が良い。			
							<u>, </u>	1
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点 <i>数</i>							

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

							(
評価項目 細別	工種			a	b	С	d					
3. 出来形及		優れて	ている。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。					
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」								
Ⅲ. 出来ば え	基礎工事 (地盤改良 等を含む)			□ 土工関係の仕上げが良い。	土工関係の仕上げが良い。							
	ਜ਼ਿੱ ਟ 10 <i>)</i>			□ 通りが良い。								
				□ 端部及び天端の仕上げが良し	\ o							
				□ 施工管理記録などから不可視	見部分の出来ばえの良さが伺え	る。						
						_						
				該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合							
				3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c							
				2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d							
				1 項目以上評価・・・c								
	評価			評価項目なし・・・・d								
	点数											

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

工事番号

		~			• 0			(工作 队五兵//)
評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	コンクリー ト橋上部エ 事 (P C 及				コンクリート構造物の表面	「状態が良い。		
	事(P C 及 びR C を対 象)				コンクリート構造物の通り	が良い。		
					天端及び端部の仕上げが良	دل۰ _°		
					支承部の仕上げが良い。			
					クラック(無害なクラック	を含む)がない。		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・ c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価		_		2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ばえ	塗装工事				塗装の均一性が良い。			
					細部まできめ細かな施工が	されている。		
					補修箇所がない。			
					ケレンの施工状況が良好で	ある。		
					全体的な美観が良い。			
								1
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

					· - ·			(<u> </u>
評化	西項目 別	工種			а	b	С	d
3. 出	来形及		優れて	こいる。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
	来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」			
Ⅲ. 比 え	出来ば	植栽工事			□ 樹木の活着状況が良い。			
					ロ 支柱の取り付けがきめ細かく	(施工されている。		
					ロ 支柱の取り付けが堅固である	5.		
					□ 全体的な美観が良い。			
						,	7	
					該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c		
					2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
					1 項目以上評価・・・c			
		評価			評価項目なし・・・・d			
		点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種			а	b	С	d
3. 出来形及		優れている	0		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当評価	ξ	抨価対象項目」			
Ⅲ. 出来ばえ	公園工事			施設構造物の肌、通り、収る	まり等仕上げの状態が良い。		
				舗装の平坦性が良い。			
				遊具等の作動が安全でかつ月	良好に作動する。		
				維持管理等の配慮が良い。			
				全体的な景観が良い。			
						·	7
				該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
				4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
				3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
				2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価			1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d		
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	河川工事				仕上げが良い。			
					通りが良い。			
					天端及び端部の仕上げが良	الار.		
					材料のかみ合わせがよく、	クラック(無害なクラックを	を含む)がない。	
					構造物へのすりつけ等が良	الار.		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c	
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・検査員用)

		_		•		
評価項目 細別	工種		•	а	b	С
3. 出来形及		優れている	5 。		やや優れている。	他の事項に該当しない。
び出来ばえ		該当評	価「	評価対象項目」		
Ⅲ. 出来ば え	下水道工事			仕上げが良い。		
				通りが良い。		
				施工管理記録等から、不可	視部分のできばえの良さがうた	かがえる。
				既設構造物とのすりつけが	良い。	
				埋戻し及び路面復旧の状態:	が良い。	
				該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
				4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
				3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
				2 項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価			1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d	
	点数					

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	防護柵 (網)工事				通りが良い。			
					端部処理が良い。			
					部材表面に傷、錆がない。			
					既設構造物とのすりつけが	良い。		
					きめ細やかな施工がなされ	ている。		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c	
	評価			4	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ≣	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	区画線工事				塗料の塗布が均一である。			
					視認性が良い。			
					接着状態が良い。			
					施工前の清掃が入念に実施	されている。		
					全体的な美観が良い。			
								7
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種			а	b	С	d
3. 出来形及		優れている	る。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当評	価「	評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ばえ	標識工事			設置位置に配慮がある。			
				標識板の向き並びに角度及	びその支柱の通りが良い。		
				標識板の支柱に変色がない	0		
				支柱基礎が入念に埋め戻さ	れている。		
				全体的な美観が良い。			
						T	1
				該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
				4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c	
				3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
				2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価			1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	維持修繕工 事				小構造物等にも細心の注意が			
					きめ細やかな施工がなされて	いる。		
					既設構造物とのすりつけが良	l,°		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c		
					2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d		
					1 項目以上評価・・・c			
	評価				評価項目なし・・・・d			
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

	評価項目 細別	工種				a	b	С	d		
	3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。		
	び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」					
	Ⅲ. 出来ば え	浚渫工事				記録紙等から不可視部分ので					
						横断図等から通りが良い。ま	た、規定された法勾配が確保	されていることが確認で	きる。		
						横断図等から端部処理が良い	ことが確認できる。				
□ 測深記録にばらつきがなく、全体的な美観が良い。											
						該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合				
						3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c				
						2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d				
						1 項目以上評価・・・c					
		評価				評価項目なし・・・・d					
		点数									

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d	
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。	
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」				
Ⅲ. 出来ばえ	用排水路				通りが良い。				
	護岸・根 固・水制工 事				材料のかみ合わせがよく、	クラック (無害なクラックを含	む)がない。		
	7				天端及び端部の仕上げが良り	u,			
					既設構造物とのすりつけ等だ	が良い。			
					全体的な美観が良い。				
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c		
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c			
	評価		-		1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d			
	点数								

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	地すべり防 止工事				地山との取り合いがよい。			
					天端及び端部の仕上げが良い	۸.		
					施工管理記録等から不可視部	3分の出来ばえの良さがうかが	える。	
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c		
					2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
					1 項目以上評価・・・c			
					評価項目なし・・・d			
	評価							
	」 点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	ている。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	外構工事				通りが良い。			
					仕上げが良い			
					雨水処理、平坦性が良い。			
					構造物へのすりつけなどか	(良い。		
					クラック(無害なクラック [:]	を含む)がない。		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価			_	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	道路改良工 事				仕上げが良い。			
					通りが良い。			
					植生、吹付等の状態が均一	である。		
					端部処理が良い。			
					構造物へのすりつけ等が良	رل _ا ه		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価			•	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。
び出来ばえ		該当	評価	ΓĒ	平価対象項目」		
Ⅲ. 出来ば え	管水路工事				埋め戻しに凹凸がなく仕上	がりが良い。	
					周辺地盤とのすりつけが良	l'°	
					附帯構造物にもきめ細やか	な施工がされている。	
					管内に土砂、異物及び損傷	、汚れがない。	
					全体的な美観が良い。		
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
					2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c	
					1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目細別	工種			a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。	0	やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」			
皿. 出来ば	フィルダム			口 仕上げが良い。			
え	工事			□ 通りが良い。			
				ー □ 構造物等へのすりつけが良い	\ ₀		
				¬ □ 吹付け(植生、コンクリート	等)の状態が均一である。		
				- │ロ コンクリート構造物の表面∜	犬態が良い 。		
				- │□ コンクリート構造物の通りか	が良い。		
				⊣ │□ 天端仕上、端部仕上等が良レ	\ ₀		
				ー ロ コンクリート構造物にクラッ	ック(無害なクラックを含む)	がない。	
				- │□ 全体的な美観が良い。			
				該当項目が8~9項目の場合	該当項目が7項目の場合	該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合
				7項目以上評価・・・a	6項目以上評価・・・a	5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a
				5項目以上評価・・・b	4 項目以上評価・・・b	4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b
				ー 3項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・ c	3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c
				2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d
				該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
				3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c	1	
				2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
				ヿ ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙ヿ ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚			
	評価			」 評価項目なし・・・・d			
	点数					-	

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d					
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。					
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」								
え	施設機械設 備工事(用 排水ポン				主設備、関連設備及び操作	設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。							
	ポパハン プ・水門設 備・除塵設												
	備・鋼製付 属品)				土木構造物、既設設備等と	のすりつけが良い。							
					溶接、塗装、組立の均一性	が良い。							
					傷、錆、補修痕跡がない。								
					全体的な美観が良い。								
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合					
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c					
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d					
					3 項目以上評価・・・ c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c						
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d						
	点数												

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

[[[]]]]	., ., .			•	• 0			(エハ・人旦人川)
評価項目細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	ている。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	ΓĒ	平価対象項目」			
皿. 出来ば	水管橋工事				傷、錆、補修痕跡がない。			
え					溶接、塗装、組立の均一性か	ヾ良い 。		
					土木構造物、既設設備等との	うすりつけが良い。		
					コンクリート構造物の表面が			
					コンクリート構造物の通りか			
						いり(無害なクラックを含む)	がない。	
					天端仕上、端部仕上等が良い		73 -5-0 0	
					全体的な美観が良い。			
				-	王仲町は天賦が及い。			
					該当項目が8~9項目の場合	該当項目が7項目の場合	該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合
					7項目以上評価・・・a	6項目以上評価・・・a	5項目以上評価・・・a	
					フリスト フリス フリス フリス フリス フリス フリス フリス フリス フリス フリス	4項目以上評価・・・b	4項目以上評価・・・b	
					3項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c	
					2 項目以下・・・・ d	2 項目以下・・・・ d	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d
					該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					3 項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c		
					2 項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d		
					1 項目以上評価・・・ c			
	評価				評価項目なし・・・d		_	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ	該当	評価	Γ	评価対象項目」				
Ⅲ. 出来ばえ	農地造成工 事(面関				平坦性が良い。			
^	等 (画) (隅角部の仕上げが良い。			
					通りが良い。			
					法面仕上が良い。			
					種子の生育が良好である。			
					附帯構造物のすりつけが良い	N _o		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が7項目の場合	該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合
					6項目以上評価・・・a	5項目以上評価・・・a	4 項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a
					4 項目以上評価・・・b	4 項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b
					3 項目以上評価・・・ c	3 項目以上評価・・・c	2 項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c
					2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d
					該当項目が2項目以下の場合			
					1 項目以上評価・・・c			
	評価				評価項目なし・・・・d			
	点数							

「記入方法」 該当する項目に1を入れる。

(十木・給杏昌田)

		Д Ц , С		100	0			(工小)及且只用/
評価項目 細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」	,		
Ⅲ. 出来ば え	農地造成工 事(パドッ ク)				平担性が良い。			
					構造物の通りが良い。			
					端部処理が良い。			
					構造物のすりつけが良い。			
					附帯構造物のすりつけが良	الار.		
					全体的な美観が良い。	,	,	
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1項目以上評価・・・c	
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

				-			
評価項目 細別	上性			а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	農地造成工 事(隔障 物)			口 通りが良い。			
	1997			□ 張線のたるみが無く、各段の)間隔が均一である。		
				□ 附帯構造物のすりつけが良し	\ _o		
				□ 全体的な美観が良い。			
						_	
				該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
				3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c		
				2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
				1 項目以上評価・・・c			
	評価			評価項目なし・・・d			
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

							(— I NEXTIN
評価項目 細別	工種			а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	客土工事			口 平担性が良い。			
				□ 放下した客入土をほ場に概ね	a均等に分散している。		
				口 隅角部の仕上げが良い。			
				口 全体的な美観が良い。			
				該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
				3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c		
				2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d		
				1 項目以上評価・・・c			
	評価			評価項目なし・・・d			
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	抨価対象項目」		
Ⅲ. 出来ば え	暗渠排水工 事				水閘・落口工の仕上げが良	い。	
					附帯明渠等の法面仕上が良	く、通りも良い。	
					既設排水路等とのすりつけ	が良い。	
					施工管理記録など不可視部	分の出来ばえの良さが伺える。	
					全体的な美観が良い。		
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				a	b	С	d	
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。	
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」				
Ⅲ. 出来ば え	区画整理工				平坦性が良い。				
٨	事				隅角部の仕上げが良い。				
					通りが良い。				
					法面仕上げが良い。				
					畦畔の通りが良い。				
					附帯構造物のすりつけが良い	N _o			
					全体的な美観が良い。				
					該当項目が7項目の場合	該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	
					6 項目以上評価・・・a	5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	
					4項目以上評価・・・b	4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	
					3 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c	 2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
					2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d			
					該当項目が2項目以下の場合			11111 X 11 0 0	
					1項目以上評価・・・c				
	 評価				評価項目なし・・・・d				
	点数			4		1			

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

[[[]]]]		~	, ,		• 0		(工作 (人且共力)							
評価項目 細別	工種				a	b	С	d						
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。						
び出来ばえ		該当	評価	Γ	評価対象項目」			1						
Ⅲ. 出来ば え	電気通信設 備工事			ロ きめ細やかな施工がなされている。										
				□ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。										
					動作状態において、電気的]及び機械的な異常が無く、	総合的な機能及び運用性が良い	, \ _o						
					ケーブル等の接続方法及び	「収納状況が適切である。								
					操作、保守点検等の容易さ	を確保するための配慮がな	されている。							
					全体的な美観が良い。	,								
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合						
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c						
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d						
					3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c							
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d							
	点数													

工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種			a	b	С	d				
3. 出来形及		優れて	こいる。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。				
び出来ばえ		該当	評価	「評価対象項目」	•	•	•				
Ⅲ. 出来ば え	魚礁・増殖場工事(コ			□ コンクリート構造物の表面状	態が良い。						
	ンクリート ブロックの 場合)			□ 端部仕上げが良い。	耑部仕上げが良い。						
	, ,			ロ クラック(無害なクラックを行	含む)がない。						
				ロ ブロック据付時のプレート付	†着状態が良い。						
				□ ブロック据付直後の母藻着生	状況が良好である。						
				□ 計画位置に設置され、広がり	が均一で全体的位置バランスカ	い					
				該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合				
				5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c				
				4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d				
				3 項目以上評価・・・ c	2項目以上評価・・・ c	1 項目以上評価・・・c					
				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d					
	評価										
	点数										

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種	_			a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	魚礁工事 (鋼製魚礁 の場合)				表面に補修箇所がない。			
	(0)场口)				表面に傷がない。			
					溶接に均一性がある。			
					全体的な美観が良い。			
					計画位置に設置され、広が	りが均一で全体的位置バラン	スがよい。	
								T
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c	
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				а	b	С	d											
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。											
び出来ばえ		該当	評価	Γ	————————— 平価対象項目」														
Ⅲ. 出来ば え	囲い礁工事				コンクリート構造物の表面	状態が良い。													
					コンクリート構造物の通り	が良い。													
					端部仕上げが良い。														
					クラック(無害なクラックを	ック(無害なクラックを含む)がない。													
					法線の出入りがなく、石材	ラック(無害なクラックを含む)がない。 線の出入りがなく、石材が均一に布設されており、全体のバランスがよい。													
					該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合												
					4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c												
					3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d												
					2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c													
	評価				1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d													
	点数																		

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	ΓĒ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	防雪柵・雪崩予防柵・				部材表面に傷、錆がない。			
	固定式視線 誘導標柱等 設置工事				通りが良い。			
	,				支柱基礎の埋め戻し等が入念	に施工されている。		
					ベースプレートと構造物の密	着が確認できる。		
					既設構造物とのすりつけが良	الار.		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
					2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・d	
	評価							
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(十木・桳杏昌用)

評価項目								(工作 校園祭)
細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	评価対象項目」			
亜. 出来ば	治山工事				施工管理記録等から不可視	部分の出来ばえの良さが何	える。	
え					コンクリート構造物の表面	i状態が良い。		
					通りが良い。			
					地山とのすりつけが良い。			
					天端仕上げ、端部仕上げか	i 良い。		
					クラック(無害なクラック	を含む)がない。		
					漏水がない。			
					残土処理等の仕上げが良い	N _o		
					法面の仕上げが良い。			
					植生、吹付、苗木等の生育	状態が良好である。		
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が11項目の場合	該当項目が10項目の場合	該当項目が8~9項目の場合	該当項目が7項目の場合
					9項目以上評価・・・a	9項目以上評価・・・a	7項目以上評価・・・a	6項目以上評価・・・a
					7項目以上評価・・・b	7項目以上評価・・・b	5項目以上評価・・・b	4項目以上評価・・・b
					5項目以上評価・・・c	4 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・ c
					4項目以下・・・・d	3 項目以下・・・・ d	2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c
					4項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3 項目以上評価・・・ c	2 項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価				2項目以下・・・・d	1 項目以下・・・・ d	評価項目なし・・・d	
	点数			•				

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種				а	b	С	d
3. 出来形及		優れて	こいる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
	林道工事				施工管理記録等から不可視部	分の出来ばえの良さがうかが	える。	
え					関係構造物等とのすり付けが	良い。		
					端部処理が良い。			
					残土処理等の仕上げが良い。			
					植生、吹付等の状態が均一で	ある。		
					法面の仕上げが良い。			
					通りが良い。			
					コンクリート構造物の表面状	態が良い。		
					コンクリート構造物のクラッ	ク(無害なクラックを含む)が	ない。	
					路面の平坦性が良い。			
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が11項目の場合	該当項目が10項目の場合	該当項目が8~9項目の場合	該当項目が7項目の場合
					9項目以上評価・・・a	9項目以上評価・・・a	7項目以上評価・・・a	6項目以上評価・・・a
					7項目以上評価・・・b	7項目以上評価・・・b	5項目以上評価・・・b	4 項目以上評価・・・b
					5項目以上評価・・・c	4 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c	3 項目以上評価・・・c
					4項目以下・・・・d	3項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d	2項目以下・・・・d
					該当項目が6項目の場合	該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合
					5項目以上評価・・・a	4 項目以上評価・・・a	3 項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c
					4 項目以上評価・・・b	3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・・d
					3項目以上評価・・・c	2項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c	
	評価				2項目以下・・・・d	1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d	
	点数							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目 細別	工種			a	b	С	d
3. 出来形及		優れてい	る。		やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	平価	「評価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	木製構造物 工事			コ 仕上げが良い。			
				コ 通りが良い。			
				コ 構造物へのすりつけが良い	•		
				コ 端部処理が良い。			
				コ 全体的な美観が良い。			
							1
				該当項目が5項目の場合	該当項目が3~4項目の場合	該当項目が2項目以下の場合	
				4項目以上評価・・・a	3項目以上評価・・・a	1項目以上評価・・・c	
				3項目以上評価・・・b	2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d	
				2 項目以上評価・・・c	1 項目以上評価・・・c		
	評価			1項目以下・・・・d	評価項目なし・・・・d		
	点数						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

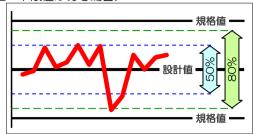
評価項目 細別	工種				a	b	С	d
3. 出来形及		優れて	いる。			やや優れている。	他の事項に該当しない。	劣っている。
び出来ばえ		該当	評価	Γ	平価対象項目」			
Ⅲ. 出来ば え	増殖場工事 (転石礁)				石材の大きさにばらつきが	ない。		
					石材にクラックがない。			
					全体的な美観が良い。			
					該当項目が3項目の場合	該当項目が2項目以下の場合		
					3項目以上評価・・・a	1 項目以上評価・・・c		
					2項目以上評価・・・b	評価項目なし・・・d		
					1 項目以上評価・・・c			
	評価				評価項目なし・・・・d			
	点数							

【記入方法及び留意事項】

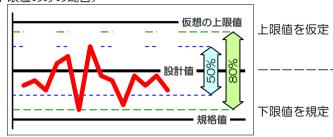
1 出来形及び品質のばらつきの考え方

〔管理図の場合〕

(上・下限値がある場合)

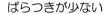


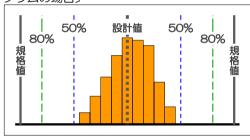
(下限値のみの場合)



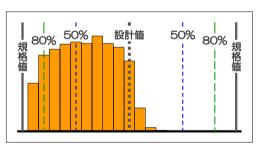
※ 上限値のない場合の ばらつきの考え方は、 下限値と同様な値があ るものと仮定し、ばら つきの%を考慮する。

〔度数表または、ヒストグラムの場合〕

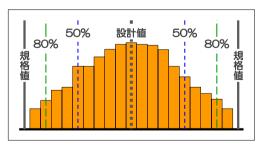




ばらついている



ばらつきが大きい



2 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評定する。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3 その他

「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。

「施工プロセス」のチェックリスト

1	工事名							機関名
2	工期	年	月	В	~	年	月	担当課所名
3	受注者							監督員名

- ① 「施工プロセス」チェックリストは、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを工事監督員が確認する。
- ② チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであればロにレマークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や是正状況等を記入する。
- ③ 用語の定義については、契約後: 当初契約後、変更後: 工期内に行う契約変更後とする。

(1/3)

										(1/ 0/
考查值	細別		チェックリストー覧表		チ:	ェック時期	(指示事項	頁)		備考
項目		確認項目	(チェックの目安)	着手前		施二	ΙФ		完成時	(指示事項及 びその是正状 況等)
1 施	⊢施工	○契約工程表	・契約締結の14日以内に、契約工程表が提出された。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
エ	体		(契約後、変更後)							
体制	制一般	○品質証明	・社内検査員の身分(役職)、経歴等が書面 で確認でき、適正である。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	/JX									
			・工事途中及び検査時の事前に社内検査により、出来形、品質及び写真管理等(数量も含む)確認を十分行い、その結果を書面により提示した。		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	
	П	〇現場代理人	(施工時適宜)							
	_	○坑場N哇人	・現場代理人は、現場に常駐している。		(/)	, ,	(/)			
	配置		(施工時 1回/月程度)							
	技術者		・現場代理人は、工事監督員との連絡調整及 び対応を書面等で行っている。		(/)			(/)		
]/ 現	○専門技術者	(施工時適宜)							
	場 代	の配置	・建設業法第26条の2に定める専門技術者を配置している。	, , ,	(/)	(/)	(/)	(/)		
	理人	〇作業主任者	(施工計画時、施工時適宜)							
	・監理	の選任	・現場作業において、労働安全衛生規則に定める作業主任者を選任し、配置している。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	技術	〇點理技術者	(施工計画時、施工時適宜)							
	者・	〇監理技術名 (主任技術 者)の専任制	・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって 工事を進めている。		(/)	(/)	(/)	(/)		
	主任		(施工時適宜)							
	技術者	○現場技術者	・施工管理を受託している現場技術員との対 応が適切に行われている。		(/)	(/)	(/)	(/)		
		0-0-1-0-0-0	(施工時適宜)							
2 施	I 施	○設計図書の 照査等	・契約書第17条第1条第1号から第5号に 係わる設計図書の照査を行っている。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
エ	I		(着手前、施工時適宜)							
状況	管理		・現場との相違事実がある場合、その事実が 確認できる資料を書面により提出して確認を 受けた。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		İ	(着手前、施工時適官)							

+2	/m	<u> </u>								
考查值	細別	TODAY TO	チェックリストー覧表		チ:	ェック時期	(指示事項	()		備考 (指示事項及
項目		確認項目	(チェックの目安)	着手前		施コ	Εф		完成時	びその是正状況等)
2	Ι	○施工計画書	・施工(変更を含む)に先立ち、提出した。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
施丁	施工		(着手前、変更時)							
工状況	管理		・記載内容と現場施工方法と一致している。		(/)	(/)	(/)	(/)		
<i>11</i> G	-±		(施工時適宜)							
			・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。		(/)	(/)	(/)	(/)		
			(施工時適宜)							
			・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			(着手前、変更時)							
		○施工管理 ・工事材料管	・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。		(/)	(/)	(/)	(/)		
		理 ・出来形	(施工時適宜)							
		・品質管理 ・イメージ アップ	・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。		(/)	(/)	(/)	(/)		
			(施工時適宜)							
			・日常の出来形、品質管理が書面にて確認で			(/)				
			きる。 (施工時適宜)							
			・特記仕様書等に定められた事項や独自の取							
			り組み又、地域等より評価されるものがあ る。 (イメージアップの実施が設計図書に定		(/)	(/)	(/)	(/)		
			められている工事を対象) (施工時適宜)		П		П	п		
		〇検査(確認を 含む)及び立会	・工事監督員の立会いにあたって、あらかじ		(/)		_	_		
		い等の調整	め立会願を提出している。 (施工時適宜)							
			・段階確認の確認時期が、適切である。					(/)		
			(施工時適宜)							
		〇工事の着手	・工期の初日より30日以内に工事に着手 (測量、準備工等) した。(0国債、工場製	(/)						
			作等特別な場合を除く)							
		○支給品及び	(着手時)・受領予定14日前までに、品名、数量、品							
		貸与品	質、規格又は性能を記した要求書を提出し た。		(/)	(/)	(/)	(/)		
		○ /ヰ=ハ,□, ★ /m	(施工時適宜)							
		○建設副産物 及び建設廃棄 物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認		(/)	(/)	(/)	(/)		
		1 //J	し、工事監督員に提示した。 (施工時適宜)				_			
			・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進							
			計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出し、内容説明を受けた。	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
			・工事現場の見やすい場所へ計画書が掲示されていた。							
			(施工時適宜)							
			・実施書の提出を受けた							
		○指定建設機	(施工後)							
		械類の確認	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械)を使用している。		(/)	(/)	(/)	(/)		
	77	○工和無理	(施工時 1回程度)							
2 ‡		〇工程管理	・履行状況を所定の工事旬報等の様式で作成 し、提出した。		(/)	(/)	(/)	(/)		
施工	工程		(施工時適宜)							
- 状 況	管理		・定められた施工時間帯の変更や休日又は夜 間の作業について、あらかじめ承諾願いを提		(/)	(/)	(/)	(/)		
			出した。			_	/	_ ′		
1		1	(施工時適宜)			1 17 1	17]		

	//								
考查	細別	******	チェックリストー覧表		チ:	ェック時期	(指示事項)		備考 (指示事項及
項目		確認項目	(チェックの目安)	着手前		施工	ф	完成時	びその是正状況等)
2施	I	○工程管理 (続き)	・工程の管理において機械、人員等の増強等 を現場の進捗の実績を元に変更し、工程の管 理を行っている。		(/)	(/)	(/) (/)		
工状況	程管		(施工時適宜)						
況	理		・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その報告を書類で提出した。		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。 (施工時適宜)						
	\blacksquare	〇安全活動	・災害防止協議会等を設置し、活動記録があ		_				
	安		る。 (施工時適宜)						
	全対		・店社パトロールを実施し、記録がある。						
	策		(施工時)						
			・安全・訓練等を実施し、記録がある。 4時間/月程度		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・施工現場での安全巡視の記録、作業前打ち合わせ(Tool-Box-Meeting)、危険予知(KY)等を実施し、記録がある。		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜)						
			・過積載防止に取り組んでいる記録がある。						
			(施工時適宜)						
			・使用機械、車輌等の点検整備等が管理され、記録がある。		(/)	(/)	(/) (/)		
			(施工時 1回/月程度)						
			・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検記録等がある。		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。						
			(施工時適宜) ・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検						
			及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。		(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・自然災害に対する防災体制が確立してお り、記録がある。		(/)	(/)			
		○安全パト	(施工時適宜)						
		ロールの指摘 事項の処理	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告した記録がある。		(/)	(/)			
	IV	○関係機関等	(施工時適宜)						
	対		・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整 をした記録がある。	(/)	(/)	(/)			
	外関		(施工時適宜)						
	係		・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対応を適切に行っている。	(/)	(/)	(/)			
			(施工時適宜)						
			・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の 請負業者と相互に協力を行っている記録があ	(/)	(/)	(/)			
			る。 (施工時適宜)						

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書

工事名			/
提案	工事特性・創意工夫・社会性等 (いずれかに〇)	評価内容	
提案内容			
(説明)			
(添付図·写真	真等)		

※1 説明資料は、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

※2 工事特性については、都市部等や厳しい自然条件への対応状況がわかる資料を添付すること。また、創意工夫及び社会性等については、その目的や効果がわかる資料を添付すること。

様式-1 (営繕用)

工事成績評定採点表

工事番号			工事 内容		₩6			※ 6			※ 6													機関名	i i						
工事名													当初]契約金	à額						円		最終契	約金額							円
請負者名													契約	工期			年月	月日	~		年	月日		完成	年月日			年	月	日	
				工事監	督員 1	>	€ 7				工事	監督員2	2	※ 7					10 + 5	7 746		/±= /\							/ -	٤.\	
考	査 項	目		監督員	Į Ņ	哉・氏	名	主	任監督	員等	職•.	氏名	主任	又は総打	括監督員	職	・氏名		検査員	職•	氏名	(部分·	中間)			検:	企員 墹	哉・氏名	(元成	()	
.,	_ ^																														
評価項目	細	別	а	b	С	d	е	а	b	С	d	е	а	b	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制-	一般	+2. 0	+1.0	0	-5. 0	-10.0																						<u> </u>		
1 . //E ** / ** /**	Ⅱ. 配置技術者	者	+4. 0	+2.0	0	-5. 0	-10.0																						<u> </u>		
	I. 施工管理		+5.0	+2. 5	0	-5. 0	-10.0											+5.0	-	+2. 5	-	0	-7. 5	-15.0	+5.0	-	+2. 5		0	-7. 5	-15. 0
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理		+4. 0	+2.0	0	-5. 0	-10.0	+2.0	+1.0	0	-7. 5	-15. 0																			
2. 旭工700	Ⅲ. 安全対策								+2. 0	0	-7. 5	-15.0																	<u> </u>		
	Ⅳ. 対外関係 +3.0 +1.5 0 -2.5 -5.0																														
3. 出来形	I.出来形		+5.0	+2. 5	0	-2. 5	-5. 0											+10.0	+7. 5	+5.0	+2. 5	0	-10.0	-20. 0	+10.0	+7. 5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20. 0
及び	Ⅱ.品 質		+7. 0	+3.5	0	-2. 5	-5. 0											+15.0	+12. 0	+7. 5	+4. 0	0	-12. 5	-25. 0	+15.0	+12. 0	+7. 5	+4. 0	0	-12.5	-25. 0
出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ																	+5.0	-	+2. 5	-	0	-5. 0	-	+5.0	-	+2. 5	-	0	-5.0	-
4. 工事特性	I.工事特性	※ 2											+16.0 ~ 0																		
5. 創意工夫	I. 創意工夫	※ 2												+9.0 ~ 0																	
6. 社会性等	I. 地域へのi	貢献等 ※2												+4.	.0 ~	0															
加減点合計	(1+2+3+4+5+6)		±		点					±			点						±		点					±		点		
評定点 (65:	±加減点合計)	※ 1	1			点		2						点				3				点			4				点		
			〇部分	引中)(引)検3	査があ	った場合	: (1	点×0.	34+@	点×0.	26+3	点×0.2	2+④点	į×0.2)	= ,	点 ;	※但し、	③ (部	分、中	間) が 2	2 回以上	の場合	は平均値	直						
	評定点小計		〇部分	引中)(引)検 3	査がな;	かった場	合: (①点×	0.34+	·②点×	0. 26+	④点×(0.4) =	- 点	(小数	対第1位	を四捨	五入)											点	
7. 法 令 ;	尊 守 等 ※	€3									_			点																	
8. その 1		€3	-										点																		
合	計 評 定	点	〇評定点小計 (点)一法令遵守等、その他 (点)	_		点総	合	評	定	点											点		
			(監	督員)				(主	任監督	(員			(総:	括監督	 [員)			(検査	(員						(検査	上 査員)					
50		₹ % 4																													
所 見 ※4																															

^{※1 1.~3.}の評定 (65点±加減点合計)+4.~6.の評定 (加点合計)=評定点

^{※2 4.} 工事特性、5. 創意工夫及び6. 社会性等の評定は、工事全般を通して、特に優れた技術等を加点評価する。

^{※3 7.} 法令遵守等、8. その他の評価は、減点評価のみとするが、週休2日モデル工事において、週休2日の確保を行った場合に限り8. その他で加点評価する。

^{※4} 所見は、特筆すべきことがあった場合に記載するものとする。

^{※5} 各考査項目ごとの採点は、工事監督員、主任監督員及び総括監督員の各評価対象項目による。検査員は検査の種別ごとに評価することとし、検査員の評価に先立ち、監督員等が評価を行う。

^{※6} 工事内容の欄には各部で定める主な工事内容コードを記入する。

^{※7} 評定者は、所属の監督体制に応じて評定者を指定することとする。

考	査 項 目	工事監督員1 ※1	工事監督	員2 ※1	①	⑤ 松木昌(ウ라)	知日即証字点 視点割2
評価項目	細 別	① 監督員	② 主任監督員等	③ 主任又は総括監督員	· ④ 検査員(部検·中間)	⑤ 検査員(完成)	細目別評定点 得点割名
1. 施工体制	I. 施工体制一般	()×0.34+2.762= 点					3.442 点
1. 旭土坪啊	Ⅱ. 配置技術者	()×0.34+2.763= 点					4.123 点
	I. 施工管理	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	12.963 点
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	()×0.34+2.762= 点	()×0.26+3.38= 点				8.022 点
2. 施工认流	Ⅲ. 安全対策	()×0.34+2.762= 点	()×0.26+3.38= 点				8.882 点
	Ⅳ. 対外関係	()×0.34+2.762= 点					3.782 点
	I. 出来形	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	14.963 点
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	()×0.34+2.763= 点			()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	17.643 点
	Ⅲ. 出来ばえ				()×0.4+6.5= 点	()×0.4+6.5= 点	8.500 点
4. 工事特性	I. 工事特性			()×0.26+3.38= 点			7.540 点
5. 創意工夫	I. 創意工夫			()×0.26+3.38= 点			5.720 点
6. 社会性等	I. 地域への貢献等			()×0.26+3.38= 点			4.420 点
7. 法令遵守等				()×1.0= 点			0.000 点
8. その他				()×1.0= 点			0.000 点
							100.000 点

^{※1} 所属の監督体制に応じて評定者を指定することとする。

^{※2} 部分、中間検査等があった場合、 $(1)+2+3+4\times0.5+5\times0.5$) = 細目別評定点(部分、中間等が2回以上の場合は4を平均する。)

^{※3} 部分、中間検査がなかった場合、(①+②+③+⑤) = 細目別評定点

^{※4} 得点割合は、細目別評定点に対する得点の割合を百分率で示す。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	I.施工体	卜制一般		□ ①作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。
				□ ②品質管理体制が、書面に適切に記載されている。
				□ ③安全管理体制が、書面に適切に記載されている。
				 ②現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。
				□ ⑤工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。
				⑥建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に 行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。
				□⑦元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。
				□ ⑧現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。
				⑤「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
				□ ⑩その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	•			評価
a:施工体制が優 e:施工体制が不			工体制	が良好である。 c:施工体制が適切である。 d:施工体制がやや不適切である。
該当項目が90%	以上		·a	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%	未満 ・・	• с	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満		· d	
	評価=	=	項	項目 %

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
1. 施工体制	Ⅱ.配置技	技術者		□ ①現場代理人として、工事全体の把握ができている。
	(現場代理	理人等)		□ ②現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。
				□ ③契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。
				④工事請負契約書第17条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第17条」という。)に基づく 設計図書の照査を行っている。
				□ ⑤書類及び資料が特記仕様書等の設計図書に基づき過不足無<整理されている。
				□ ⑥作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。
				□ ⑦工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。
				⑤作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。
				□ ⑨主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。
				□ ⑪施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。
				□ ⑪施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。
				□ 他「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。
				□ ③その他
				· 理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
				評価
a:配置技術者と d:配置技術者と				置技術者として良好である。 c:配置技術者として適切である。 e:配置技術者として不適切である。
該当項目が90%	以上 …		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満 ・・	·b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%	未満 ・・	• с	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満 ・・・		d	
	評価=	=	項	項目 %

※2. 作業主任者を専任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

^{※1.} 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I.施工管	·理		□ ①契約書第17条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。
				□ ②施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。
				□ ③施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。
				□ ④施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。
				□ ⑤施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。
				□ ⑥施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。
				□ ⑦工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。
				□ ⑧施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。
				□ ⑨一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。
				□ ⑪現場内での整理整頓が、日常的に行われている。
				□ ①使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)の調達の計画及び 搬入後の管理が適切である。
				□ ⑫社内検査が計画的に行われている。
				□ ⑪独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。
				□ ① 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。
				□ ⑥建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。
				□ ⑥「施エプロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
				□ ⑪その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
				評価
a:施工管理が優 e:施工管理が不			工管理	が良好である。 c:施工管理が適切である。 d:施工管理がやや不適切である。
該当項目が90%	以上	•a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%:	未満・・・・	· · b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%:	未満・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・	• d		
	評価=	=	項	項目 %

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅱ.工程管理		□ ①実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。
			□ ②現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。
			③工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居官署等に対し、影響を 及ぼす工程の遅れがない。
			□ ④現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。
			□ ⑤工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。
			□ ⑥請負者の責による夜間や休日の作業がない。
			□ ⑦休日・代休の確保を行っている。
			□ ⑧近隣住民(入居官署等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。
			◎「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
			□ ⑩その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			· 評価
a:工程管理が優 e:工程管理が不		程管理	理が良好である。 c:工程管理が適切である。 d:工程管理がやや不適切である。
該当項目が90%	以上 ···· a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%未満•••	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%未満•••	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・・ d	_	
	評価=	項	項目 %

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策		□ ①災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。
			□ ②店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。
			□ ③各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正 指示している。
			□ ④安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。
			□ ⑤安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。
			□ ⑥新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。
			□ ⑦現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。
			□ ⑧重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。
			□ ⑨山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。
			□ ^① 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施 されている。
			□ ⑪使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。
			□ ⑫工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。
			□ ⑬過積載防止に十分に取り組んでいる。
			□ ^① 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
			□ ®その他
			理由:
			(減点)該当すればc評価とする。
			□ 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:安全対策が優 e:安全対策が不		全対策	が良好である。 c:安全対策が適切である。 d:安全対策がやや不適切である。
該当項目が90%	以上·····a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%未満••••	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%未満・・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満····· d		
	評価=	項	項目 %

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅳ.対外関係		□ ①工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。
			□ ②工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。
			□ ③引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。
			□ ④工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。
			□ ⑤近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応 を行い、以後のトラブルがない。
			□ ⑥現場のイメージアップに、取り組んでいる。
			□ ⑦「施エプロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に 対する改善が速やかに実施されている。
			□ ⑧その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□ 対外関係に関して監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:対外関係が優 e:対外関係が不		外関係	系が良好である。 c:対外関係が適切である。 d:対外関係がやや不適切である。
該当項目が90%	以上 ····· a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%未満・・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・・ d		
	評価=	項	項目 %

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	I.出来形			□ ①承諾図等が、設計図書を満足している。
出来ばえ				□ ②施工図等が、設計図書を満足している。
				□ ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。
				│ □ ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。
				□ ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。
				□⑥出来形の管理方法を工夫している。
				□ ⑦解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。
				│ □ ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。
				□ ⑨その他
				 理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第16条に基づき監督職員が改造請求を行った。
				評価
a:出来形が優れ e:出来形が不適		b:出来	形が良	g好である。 c:出来形が適切である。 d:出来形がやや不適切である。
該当項目が90%	以上		а	①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%	未満・・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・		d	
	評価=	:	項	項目 %

^{※1.} 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	建築工	事		□ ②品質確認記録の内容が、適切である。
	工事	比率		□ ③施工の各段階における完了時の、品質が適切である。
				□ ④躯体工事における施工の品質が、良好である。
,				□ ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。
				□ ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
				□ ⑦その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第16条に基づき監督職員が改造請求を行った。
				評価
a: 品質が優れて e: 品質が不適切		o:品質が	良好で	である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。
該当項目が90%	以上	• a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%	未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%	未満・・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・	·d	1	
	評価=	=	項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	電気設備	工事		□ ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。
	受変電設	備工事		□ ③品質確認記録の内容が、適切である。
	工事	比率		②システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が 設計図書を満足している。
	1.0	0		□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。
				□ ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
				□⑦その他
				 理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第16条に基づき監督職員が改造請求を行った。
				評価
a: 品質が優れて e: 品質が不適切		:品質が	良好で	である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。
該当項目が90%	以上	• a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	以上90%:	未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%:	未満・・・・	С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満・・・・	• d		
	評価=	=	項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

前負の評価計=

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。
出来ばえ	暖冷房衛 工事	生設備		□ ②品質確認記録の内容が、適切である。
	機械設備	工事		□ ③施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。
	工事。	比率		④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書 を満足している。
				□ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。
				□ ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。
				□ ⑦その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□ 工事請負契約書第16条に基づき監督職員が改造請求を行った。
				評価
a:品質が優れて e:品質が不適切		:品質が	良好で	である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。
該当項目が90%	以上	• a		①「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%以上90%未満・・・・ b			b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%以上80%未満・・・・ c			С	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%未満・・・・・ d				
	評価=	=	項	項目 %

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細 別 評価対象項目		
2. 施工状況	Ⅱ.工程管理	①現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を 完成させた。	
		□ ②隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。	
		③近隣住民(入居官署等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に 工事を完成させた。	
		□ ④配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。	
		□ ⑤その他	
		理由:	
	詳細評価内容:		
		ている。 b:工程管理が良好である。 c:工程管理が適切である。 不適切である。 e:工程管理が不適切である。_	
		評価選択 🗌 a 🗎 b 🗎 c 🗎 d 🗎 e	
	評価= e	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。	
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策	□ ①建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。	
		□ ②安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。	
		□ ③安全衛生管理活動が、適切に実施されている。	
		□ ④安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。	
		□ ⑤安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。	
		□ ⑥その他	
		理由:	
	詳細評価内容:		
			0
		ている。 b:安全対策が良好である。 c:安全対策が適切である。 不適切である。 e:安全対策が不適切である。	
		評価選択 🗌 a 🗌 b 🗌 c 🗌 d 🗎 e	
	評価= e	※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。	

特性1/3)

考査項目 (細別)		評価対象項目	(特性1/3)
4. 工事特性	■建物規模への対	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
(施工条件等へ の対応)	応	延べ面積10,000㎡以上の建物	
		地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物。地下2階以上の建物	
		大空間のホール等を有する建物	
		その他(理由:)
		詳細評価内容:	
	評点= 点		
	■建物固有の機能	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
	の難しさへの対応	対象建物の耐震レベル	
		建物機能の特殊性	
		その他(理由:)
		[評価技術事例]	
		・建築工事で道有施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事	
		・電気又は暖冷房衛生設備工事で道有施設の総合耐震計画基準において甲類に属	属する工事
		・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物	
		詳細評価内容:	
		※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	
	技術の難しさへの対応	建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術技	是案は除く】
		設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性	
		制約条件等があり、施工難度が特に高い場合	
		その他(理由:)
		[評価技術事例]	
		・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必	必要な工事
		・特殊な工法及び材料等を採用した工事	
		・特殊な設備システムを採用した工事	
		・免震装置を設ける工事	
		・大規模な山留め工法が必要な工事	
		・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事	
		・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を 修工事	必要とする改
		詳細評価内容:	
	評点= 点		

(特性2/3)

		(特定2/3)
考査項目 (細別)		評価対象項目
4. 工事特性	■厳しい自然・地	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。
(施工条件等へ の対応)	盤条件への対応	□ 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)
		□ 軟弱地盤、支持地盤の影響
		□ 雨・雪・風・気温等の影響
		□ その他(理由:)
		[評価技術事例]
		・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事
		・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事
		・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理
		や施工スペースの制限を受けた工事
		詳細評価内容:
	評点= 点	
	■厳しい周辺環境、	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。
	社会条件との対応	□ 地中埋設物等の作業障害
		□ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物
		□ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮
		□ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮
		□ その他(理由:)
		[評価技術事例]
		・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事
		・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事
		・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事
		・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められてる工事
		・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整をを行った工事
		詳細評価内容:
	評点= 点	

(特性3/3)

考査項目 (細別)		評価対象項目
4. 工事特性	■施工現場での対	※下記の対応事項に1つにレ点が付けば2点の加点とし、最大6点とする。
(施工条件等へ の対応)	応	【長期工事における安全確保への対応】
		□ 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事 (ただし全面一時中止期間は除く)
		【災害等での臨機の措置】
		□ 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事
		【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】
		□ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事
		□ 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事
		□ 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事
		□ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事
		□ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事
		□ 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
		□ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事
		□ 施エヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事
		□ 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事
		□ その他(理由:
(最大 16点)	=1 L L	詳細評価内容:
評点計= 点	評点= 点	

- ※1. 工事特性は、最大16点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。
- ※2. 総括監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、主任監督員の意見も参考に評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

6. 社会性等	I. 地域への等	の貢献	□ ①「ゼロカーボン北海道」に関して意欲的に取り組んだ。
	7		②周辺地域の環境保全(「ゼロカーボン北海道」の取組を除く)、生物保護等について、具体的な対策をした。
			③災害時等に地域への救援活動等に協力した。
			④現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。
			□ ⑤広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。
			□ ⑥地域の資材を活用した。
			□ ⑦地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。
			□ ®その他
			詳細評価内容:
			・特に評価すべき社会性等に関する事例を加点評価する。 ・加点は+4点~0点の範囲とする。 1項目1点を目安とする。
	評点=	点	

- ※1. 総括監督員は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。
- ※2. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
- ※3. レ点を付した評価対象項目について、評価した内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表							
7. 法令遵守等	点数	措置内容						
	•	該当無し						
	○ -20 点	1 指名停止3ヶ月以上						
	○ -15 点	2 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満						
	○ -13 点	3 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満						
	○ -10 点	4 指名停止2週間以上1ヶ月未満						
	〇 - 8 点	5 文書注意						
	○ - 5 点 6 口頭注意 ○ - 3 点 7 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなた場合(不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)							
	① 本考査項目(8.%) あった」場合に適用す	去令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置が する。						
	②「工事の施工にあ	あたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。						
		は、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従 するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。						
	書注意、口頭注意等	処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(主任又は総括監督員からの文章)は、主任又は総括監督員の評価対象項目である安全対策において減点をする。						
	【上記で評価する場合							
	・1.入札前に提出し 	た調査資料等が虚為であった事実が判明した。						
	・ 2.承諾なしに権利	義務等第三者譲渡又は承継を行った。						
	・ 3.労働者の寄宿舎	合環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。						
	・ 4.産業廃棄物処理	胆法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。						
	・ 5.当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。							
	・ 6.建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等							
	・ 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。							
	・ 8.使用人等の就労	かに関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。						
	・ 9.監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の いる。あるいはそれに類する行為がある。							
	・11.過積載等の道路	各交通法違反により、逮捕または送検等された。						
	・12.受注企業の社員 団関係者がいること	員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力 が判明した。						
	手等の物品の納入、 ・14.安全管理の措置	団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍 作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こし						
	た。							
		7等が発生し、請負者の責による重大な瑕疵が判明した。						
		で虚偽の報告があった。						
		5り工期内に工事を完成出来なかった。 標準契約書式 契約書第6条の2(受汪者の契約の相手万となる下請負人の健康保険等加人義務等)に違反し						
	・19.その他 理由:							
8. その他	□ 該当なし	総合評価方式において、受注者の責により提案を満足する施工が行われない場合等						
	① 施行計画審査タ	イプ						
		画の不履行による減点(1項目あたり最大5点とする。) <(入札時のチェック数ー施工後のチェック数)÷(入札時のチェック数)<小数点以下第1位四捨五入>						
	※ 明らかに不履 場合は減点しな	責行が認められる場合に減点することとし、不履行の原因が自然災害によること等、受注者の責によらない い。						
		交代に係る減点(減点数は評価が下がる項目の組合せに応じて、最大4点とする。)						
		:(監理)技術者の資格が、入札時に評価した資格より劣り、評価が下がる場合に減点を行う。なお、技術者の 形亡や健康上の理由、退職等やむを得ない場合においても評価が下がれば減点する。						
	ウ 追加配置した打	技術者の交代に係る減点(減点数は5点とする。)						
		の活用、地域企業の活用、その他の評価項目の不履行による減点(1項目あたり一律5点減点) 計画に対して、明らかに不履行が認められ、入札時の評価が下がる場合に減点する。						
	※ 申請のあつ/5② 施工実績審査タ							
	し ルエス根徴直び							

※ 施工計画審査タイプのイ、ウ、エと同様

③週休2日モデル工事において、週休2日を確保した(加点数1点)。

(創意1/2

****		制心(アム)		
考査項目·細別			西対象項目	
5.創意工夫	■準備・後片づけ		測量・位置出しにおける工夫	
	関係		現地調査方法の工夫	
			その他	
			理由:	
		詳維	细評価内容:	
	■施工関係		施工に伴う器具・工具・装置類の工夫	
			工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な	
			取組み	
			土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫	
			建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫	
			電気設備工事等の配線、配管等の工夫	
			暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫	
			照明・視界確保等の工夫	
			仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫	
			運搬車両・施工機械等の工夫	
			型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫	
			施工管理及び品質向上等の工夫	
			プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫	
			仮設施工等の工夫	
			既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫	
			保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫	
			作業の安全性向上のための施工方法等の工夫	
			その他	
			理由:	
		詳維	细評価内容:	
	■品質関係		集計ソフト等の活用と工夫	
			躯体工事の品質管理の工夫	
			建築材料・機材の検査・試験に関する工夫	
			施工の検査・試験に関する工夫	
			品質記録方法の工夫	
			その他	
			理由:	
		詳維	细評価内容:	

(創意2/2

考査項目·細別		評価対象項目			
5.創意工夫	■安全衛生関係	□ 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)			
		□ 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫			
		□ 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫、			
		□ 酸欠対策·有毒ガス·可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫			
		□ 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫			
		□ 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫			
		│			
		ー ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫			
		□ その他			
		理由:			
		詳細評価内容:			
	■施工管理関係	□ 出来形の管理等に関する工夫			
		□ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫			
		□ CAD、施工管理ソフト等の活用			
		□ 施工合理化技術(※6)を活用した施工管理の工夫			
		□ その他			
		理由:			
		詳細評価内容:			
	■その他	<新技術活用>※新技術に関する下記5項目での加点は最大4点とする。			
		以下の項目評価に当たっては、活用効果調査票の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方に			
		よる全ての活用効果調査票、新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点対象			
		は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わない			
		ものとする。			
		□ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」			
		と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(4点)			
		□ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」			
		と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(2点)			
		□ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」			
		と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。(1点)			
		□ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、			
		活用の効果が相当程度確認できた。(2点)			
		□ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、			
		活用の効果が一定程度確認できた。(1点)			
		※ここで「有用とされる技術」とは、国土交通省策定「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で			
		定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等を言う。			
		※複数の技術の評価におたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、			
		最大4点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術に対し各項目の加点点数			
		を掛け合わせたものを評価点数とするが、この場合も最大4点の加点とする。			
		<その他>			
		□ その他			
		理由:			
(最大 9点)		詳細評価内容:			
評点 計= 点					

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大9点の加点評価とする。
- ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。 なお、「工事特性」との二重評価は行わない。
- ※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない。
- ※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。
- ※6. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。
- ※7. 考査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細分毎に、施工合理化技術を活用して効果があった場合に、その他の理由に具体の内容を記載して加点する。さらに、当該技術がNETIS登録技術である場合は「■その他」<新技術活用>の項目に追加で加点できるものとする。

考査項目	細別	対象	評価対象項目
2. 施工状況	I.施工管理		□ ①契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。
			□②施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。
			③施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認で きる。
			□ ④施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。
			□ ⑤工事記録の整備が、過不足無く作成されていることが確認できる。
			□ ⑥使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。
			□ ⑦一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。
			□ ⑧建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。
			□ ⑤
			□ ⑪独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。
			□⑪工事の関係書類及び資料の整理がよい。
			□ ⑪その他
			理由:
			(減点)該当すればd評価とする。
			□施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。
			(減点)該当すればe評価とする。
			□施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示に従わなかった。
			評価
a:施工管理が優 e:施工管理がイ		管理:	が良好である。 c:施工管理が適切である。 d:施工管理がやや不適切である。
該当項目が90%以上・・・・・ a			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	ы以上90%未満・・・・b)	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が60%	以上80%未満・・・・	•	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%	未満····· d	r	
	評価=	項	項目 %

考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3. 出来形及び	I.出来形			□ ①承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
出来ばえ				□ ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。
				③施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施している ことが確認できる。
				□ ④出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。
				□⑤出来形の管理方法が確認できる。
				□ ⑥現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。
				□ ⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。
				□ ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。
				□ ⑨解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。
				□ ⑪その他
				理由:
				(減点)該当すればd評価とする。
				□出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
				(減点)該当すればe評価とする。
				□出来形が不適切であったため、工事請負契約書第30条に基づく修補指示を検査職員が 行った。
			=	評価
				が優れている。 b:出来形が特に良好である。 b':出来形が良好である。 o不適切である。 e:出来形が不適切である。
該当項目が90%	6以上・・・・	• a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
該当項目が80%	6以上90%:	未満・・・・	a'	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
該当項目が70%以上80%未満・・・・ b			b	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
該当項目が60%以上70%未満・・・・ b'			b'	
該当項目が50%以上60%未満・・・・ c				
該当項目が50%	6未満・・・・・	· d		
	評価=		項	項目 %

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目							
3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認 できる。							
出来ばえ 建築工事				□ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。							
工事比率				□ ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。							
				□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。							
				□ ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。							
				□ ⑥建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計 図書を満足していることが確認できる。							
				⑦躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。							
				□ ⑧内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが 確認できる。							
				□ ③その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。							
				□ ⑩不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。							
				□ ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。							
				□ ⑫その他							
				理由:							
				(減点)該当すればd評価とする。							
				□品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。							
				(減点)該当すればe評価とする。							
				□ 品質が不適切であったため、工事請負契約書第30条に基づく修補指示を検査職員が 行った。							
				評価							
				れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 適切である。 e:品質が不適切である。							
該当項目が90%	5以上・・・・	• a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。							
該当項目が80%	以上90%:	未満・・・・	a'	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。							
該当項目が70%	以上80%:	未満・・・・	b	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100							
該当項目が60%	以上70%:	未満・・・・	b'								
該当項目が50%	以上60%:	未満・・・・	С								
該当項目が50%	未満⋯⋯	• d									
	評価=	:	項	項目 %							

- ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

	考査項目	細	別	対象	評価対象項目
3	3. 出来形及び	Ⅱ.品質			□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
	出来ばえ	電気設	備工事		│ │ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 │
	受変電設備工事		受変電設備工事		□ ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
	工事比率		比率		□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。
					□ ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
					□ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。
					⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、 設計図書を満足していることが確認できる。
					□ ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
					□ ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
					□ ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
					□ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。
					□⑩その他
					理由:
					(減点)該当すればd評価とする。
					□品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。
					(減点)該当すればe評価とする。
					□ 品質が不適切であったため、工事請負契約書第30条に基づく修補指示を検査職員が 行った。
					評価
a	ı:品質が特に優 ∷品質が適切で	れている。 ある。 d:	a'∶品質 品質がや	〔が優》 や不通	れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 適切である。 e:品質が不適切である。
===	亥当項目が90%	以上	• a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
Ē	亥当項目が80%	以上90%	未満・・・・	a'	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
=	亥当項目が70%	以上80%	未満・・・・	b	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100
Ē	亥当項目が60%	以上70%	未満・・・・	b'	
Ē	亥当項目が50%	以上60%	未満・・・・	С	
Ē	亥当項目が50%	未満・・・・	• d	T	
I		評価=	:	項	項目 %

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象	評価対象項目							
3. 出来形及び	Ⅱ.品質		□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。							
出来ばえ	暖冷房衛生設備工 事		□ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。							
	機械設備工事		□ ③機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。							
	工事比率		□ ④品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。							
			】 □ ⑤施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。							
			□ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。							
			⑦システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、 設計図書を満足していることが確認できる。							
			□ ⑧システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。							
			□ ⑨不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。							
			□ ⑪中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。							
			□ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。							
			□⑫その他							
			理由:							
			(減点)該当すればd評価とする。							
			□品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。							
			(滅点)該当すればe評価とする。							
			□ 品質が不適切であったため、工事請負契約書第30条に基づく修補指示を検査職員が 行った。							
			評価							
			れている。 b:品質が特に良好である。 b':品質が良好である。 切である。 e:品質が不適切である。							
該当項目が90%	6以上 a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。							
該当項目が80%	6以上90%未満・・・・	a'	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。							
該当項目が70%	6以上80%未満・・・・	b	③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100							
該当項目が60%	6以上70%未満・・・・	b'								
該当項目が50%	6以上60%未満・・・・	С								
該当項目が50%	6未満・・・・・ d 									
	評価=	項	項目 %							

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。
- ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細	別	対象	評価対象項目							
3. 出来形及び	Ⅲ.出来ば	え		□ ①きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。							
出来ばえ	建築工	事		│ │ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。							
	工事	比率		③ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。							
				□ ④仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。							
				□ ⑤色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。							
				□ ⑥材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。							
				□ ⑦保全に配慮した施工がなされている。							
				□ ⑧その他							
				理由:							
				(滅点)該当すればd評価とする。							
				□出来ばえが劣っている。							
			-	評価							
a:全体的な完成 d:全体的な完成			b:全f	本的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。							
該当項目が90%	6以上・・・・	• a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。							
該当項目が80%	6以上90%:	未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。							
該当項目が80%	6未満・・・・	С		③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100							
				④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。							
	評価=		項	項目 %							

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

^{※1.} 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

考査項目	細別	対象	評価対象項目						
3. 出来形及び	Ⅲ.出来ばえ		□ ①きめ細やかな施工がなされている。						
出来ばえ	電気設備工事		□ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。						
	受変電設備工事		□ ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。						
	工事比率		□ ④環境負荷低減への対策が優れている。						
			□ ⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。						
			□ ⑥その他						
			理由:						
			(減点)該当すればd評価とする。						
			□出来ばえが劣っている。						
		<u>-</u>	評価						
	t度が優れている。 t度が劣っている。	b:全f	本的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。						
該当項目が90%	6以上·····a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。						
該当項目が80%	6以上90%未満・・・・	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。						
該当項目が80%	ó未満 ・・・・ c		③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100						
			④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。						
	Γ	1							
	評価=	項	項目 %						

- ※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

考査項目	細別	対象	評価対象項目						
3. 出来形及び	Ⅲ.出来ばえ		□ ①きめ細やかな施工がなされている。						
出来ばえ 暖冷房衛生設備工 事			□②関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。						
機械設備工事			□ ③機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。						
	工事比率		□ ④環境負荷低減への対策が優れている。						
			⑤運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。						
			□ ⑥その他						
			理由:						
			(減点)該当すればd評価とする。						
			□出来ばえが劣っている。						
		<u>-</u>	評価						
a:全体的な完成 d:全体的な完成			体的な完成度が良好である。 c:全体的な完成度が適切である。						
該当項目が90%	6以上 ···· a		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。						
該当項目が80%	6以上90%未満·	b	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。						
該当項目が80%	ь未満⋯⋯ c		③ 評価値(%)=(評価数/対象評価項目数)×100						
			④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする。						
	評価=	項	項目 %						

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。
- ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※4. デザインビルド方式等で建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

1. 工事名			
2. 工 期	明治33年1月0日	~	明治33年1月0日
3. 請負者名			1

機	関	名		
監	督	員		(
I	事番	号	0	

- ①「施工プロセス」チェックリストは、標準仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に管理されているかを監督職員等が確認する。
- ②チェック欄には書類もしくは現場等で確認した月日を、その内容が適切であれば口にレマークを記入する。(必要に応じて指示事項等を記入してもよい。)備考欄には指示事項、是正状況、取り組み状況等を記入する。

考本	¢ш												
考査項目	加別	確認項目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前				完成時	備考				
1 施 工	T	〇品質•安全管理体制	・品質及び安全計画に見合う管理体制が確立されている。 (施工計画書提出時)			$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$		$\widehat{\mathbb{Q}}$		
制	制一	〇建設業退職金共済制 度	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 (契約後、増額変更後)	(/)		$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$		$\widehat{\mathbb{Q}}$		
	般		・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工中適宜)		(/)			(\	(/)			
			・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示 している。 (施工中1回程度)			$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$				
		〇請負代金内訳書	・請負代金内訳書を契約締結後14日以内に提出した。 (契約後)	(/)									
		○労働保険関係成立票	・労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示している。 (施工中1回程度)		(/)					(/)			
		○建設業許可標識	・建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所に 設置している。(全ての下請業者を含む。) (施工中1回程度)			$\widehat{\mathcal{L}}$	$\widehat{\mathcal{L}}$	$\bigcap_{\mathcal{C}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$				
			・施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。(提出義務のない工事は、下請業者を含む作業分担に関する資料でよい。) (施工時の当初、変更時)			$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$				
			・施工体制台帳に下請負契約書等(写)(再下請業者を含む。)を添付 している。 (施工時の当初、変更時)		(/)					(/)			
			・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)										
			・施工体系図または下請負人通知書等に記載されている業者のみが作業している。 (施工時 1回/月程度)										
			・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。(下請工事がある全ての工事に適用する。) (施工時の当初、変更時)		(/)			(/)	(/)	(/)			

考	チェック欄(指示事項等)												
查項目	細別	確認項目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前				施工中				完成時	備考
1	配置技	〇工事実績情報	・事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内(祝日を除く。)に登録機関に申請し、登録されることを証明する資料を、監督職員に提出した。 (契約後、変更後、完成時)	(/)	(/)	(/)	(/)		(/)	(/)	(/)	(/)	
制	術者/	〇現場代理人	・現場に常駐している。 (施工中 1回/月程度)										
	現場代		・監督職員への通知、報告、申出等を書面で行っている。 (施工中適宜)										
	人	〇監理技術者(主任技術 者)の専任制等	・技術者としての要件が資格者証等により確認できた。 (着手前)	(/)									
	監理技術		・配置予定技術者または現場代理人等通知書等に記載されている技術者が本人と同一であった。 (着手前)										
	者/主任		・工事実績情報登録において重複が無く、現場に専任している。(専任 義務は建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上) (施工中 1回/月程度)					$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\bigcap_{i=1}^{\infty}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	
	技術		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。 (施工中、打合せ時)		(/)	(/)	(/)						
	者	○専門技術者の 配置	・専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)					$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$		
		〇作業主任者の 選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)		(/)	(/)	(/)			(/)	(/)		
		〇下請負者の把握	・国土交通省の指名停止期間中でない。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)			(/)	(/)		
2施工状	I施工管	〇設計図書の照査 等	・契約書第17条第1条第1号から第5号に係わる設計図書の照査を 行っている。 (着手前、施工中適宜)		(/)	(/)	(/)						
状 況	管理		・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工中適宜)										
		〇施工計画書	・施工に先立ち、設計図書等の内容を反映したものを提出した。 (着手前、変更時)	(/)	(/)	(/)	(/)			\	\		
			・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	_	

考							チェック様	(指:	示事項等)				
査項目	細別	確認項目	チェックリストー覧表 (チェックの目安)	着手前				施工中				完成時	備考
2 施 工		〇施工管理 ・建築材料、機材の管理	・建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (施工中適宜)				(/)	(/)					
工状況	管理	・出来形、品質管理	・日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。 (施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		〇建設副産物及び建設 廃棄物	・請負者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督職員に提示した。 (施工中適宜)			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				
			・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出し、内容説明を受けた。 (施工中適宜) ・工事現場の見やすい場所へ計画書が掲示されていた。 (施工中適宜)										
	Ⅱ工程管	〇工程管理	・施工前に各種工程表を提出している。 (着手前、施工中適宜)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)				
	理		・工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。 (施工中適宜)			$\widehat{\mathbb{Q}}$			$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$	$\widehat{\mathbb{Q}}$		
	Ⅱ安全対策	○安全活動	・安全活動を実施し、記録がある。(必要に応じ、以下の内容をチェックする。) ①災害防止協議会等(施工中適宜) ②店社パトロール(施工中1回/月程度) ③安全教育、訓練等(施工中適宜) ④安全巡視、TBM、KY等(施工中適宜) ⑤新規入場者教育(施工中適宜)										
		○仮設備点検等	・仮設備点検等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容を チェックする。) ①過積載防止対策(施工中適宜) ②機械・車両等点検整備等(施工中1回/月程度) ③重機操作時安全点検記録等(施工中適宜) ④山留め、仮締切等の点検及び管理記録 (施工中適宜) ⑤足場、支保工の組立完了時・使用中の点検及び管理記録 (施工中適宜)			(/)	(/)		(/)				
	Ⅳ対外関係	〇関係機関等	・関係機関等との調整等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) ①関係官署(施工中適宜) ②近隣住民・入居官署等 (施工中適宜) ③関連工事等(施工中適宜)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)				